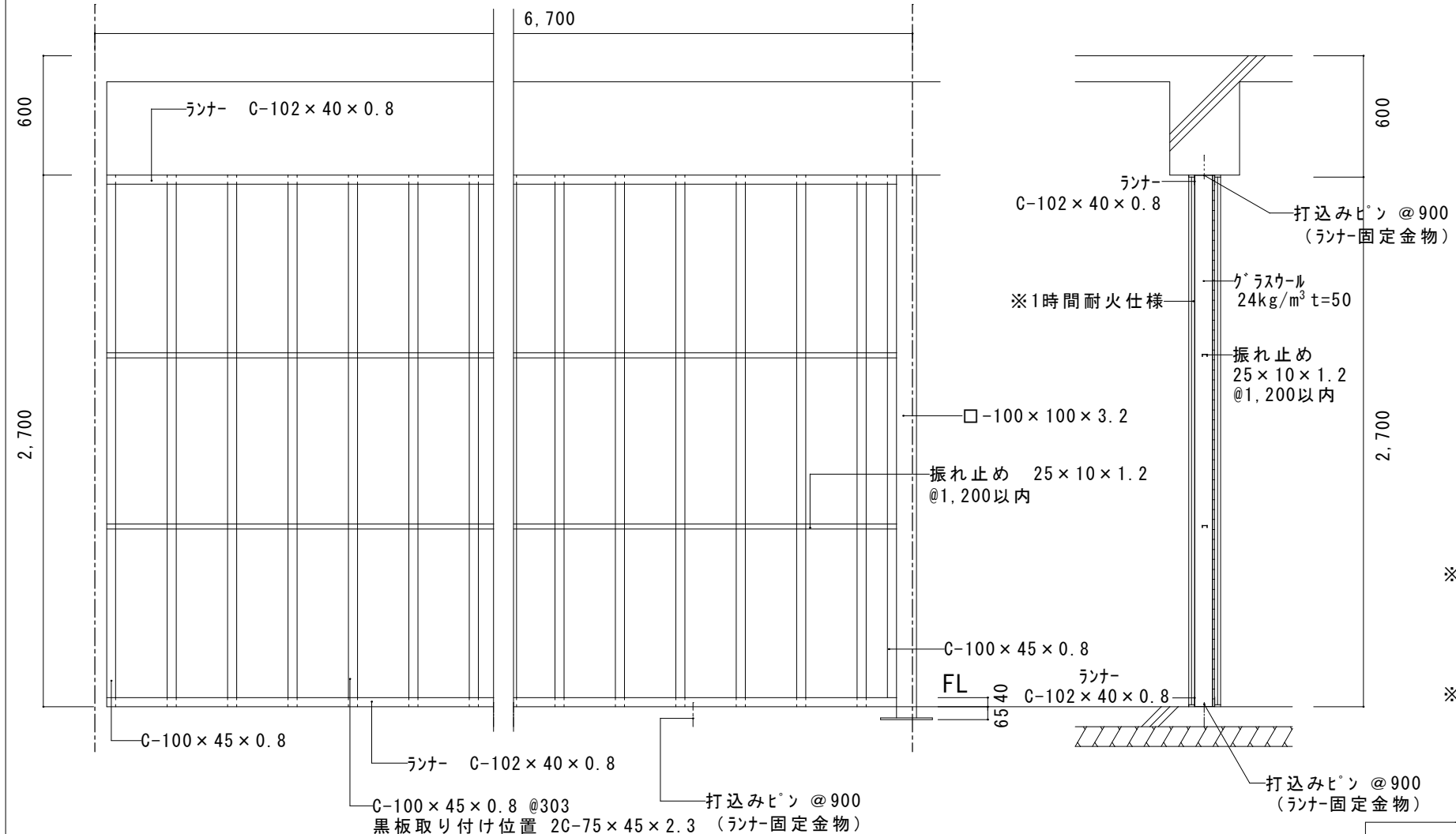
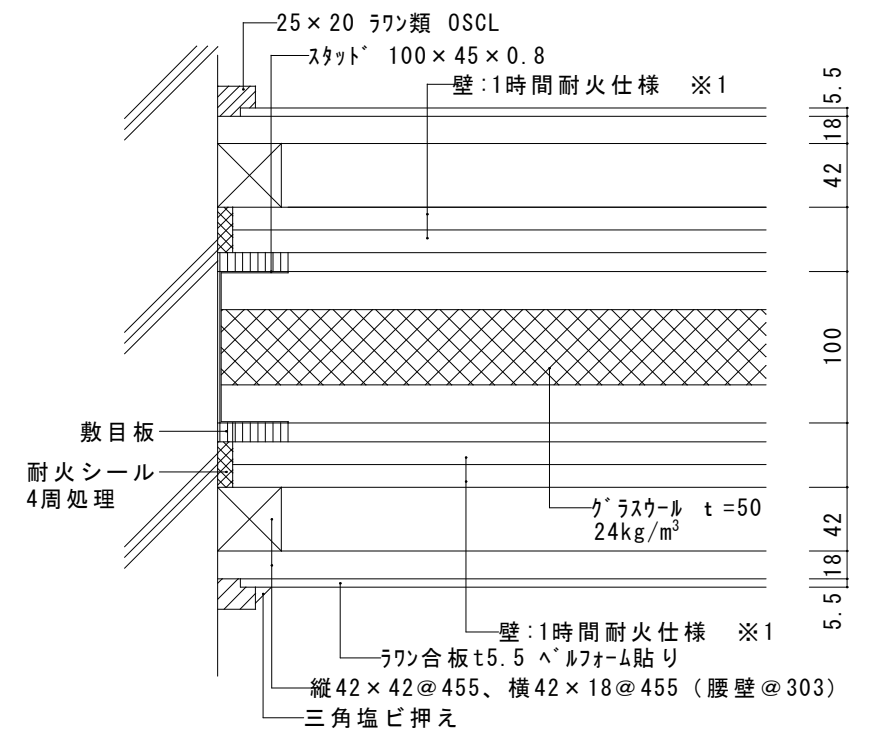


ランナー Spacerタイプは壁高さ3.5mまで  
敷目板タイプ（触れ止め有）は4mまで

LGS 割付平面図 S=1:20



LGS 立面図 S=1:30

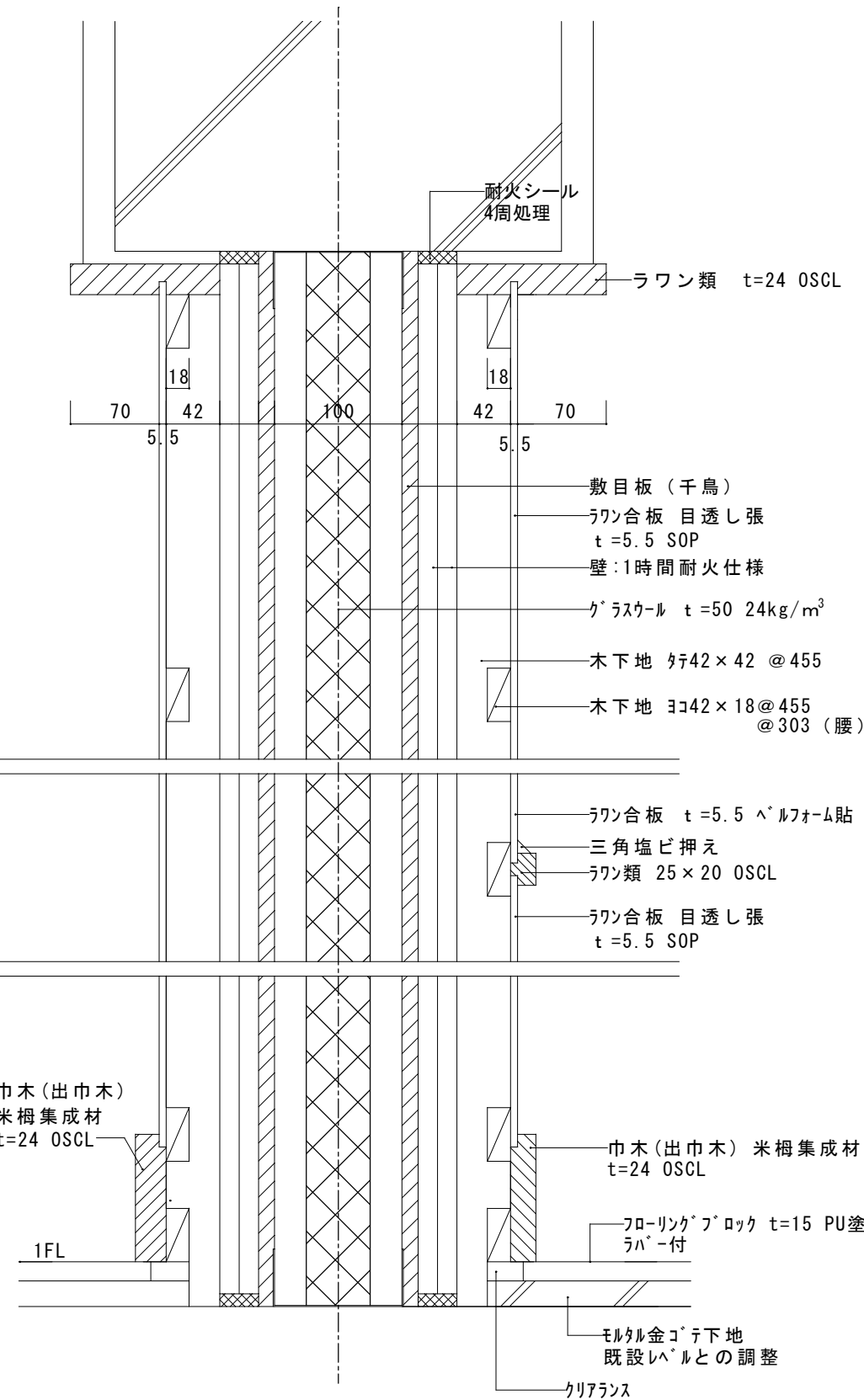


A部詳細図 S=1:5

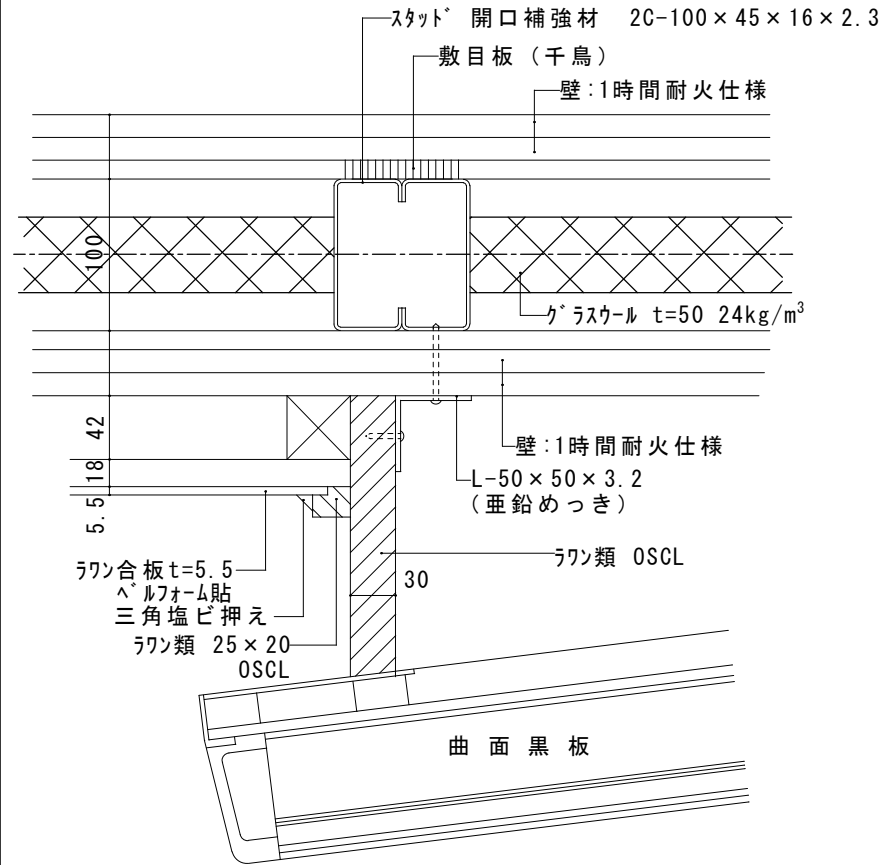
- ※1 壁1時間耐火仕様（下地グラスウール）下記同等品以上 継目処理・4周処理共  
吉野石膏:B15・W1 敷目板タイプ（タイガード・タイプ Z 15mm 2重張り）認定番号FP060NP-0175  
敷目板 タイガード 12.5mm  
チタケチ:耐火ウール15C-G（強化せっこうボード 15mm 2重張り）認定番号FP060NP-0247
- ※2 敷目板  
壁1時間耐火仕様に支障のないものとする。

教室間仕切壁標準図	縮尺	1:5 1:20 1:30	図番	2026年4月	一宮市建築部 公共建築課
				1-1(1)	

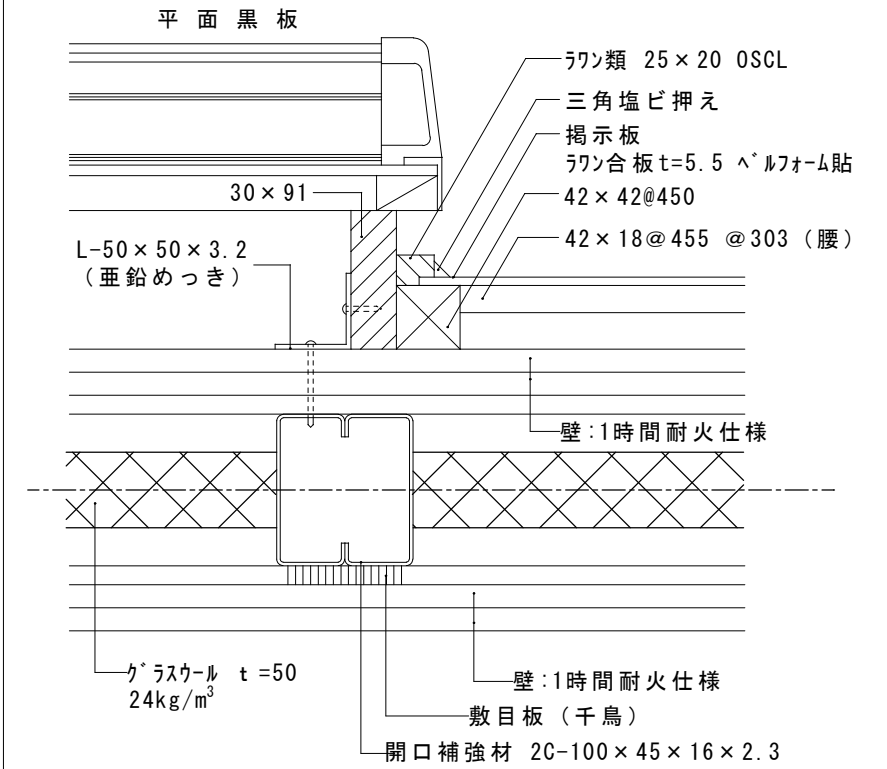
LGS 間仕切り 取付断面詳細図



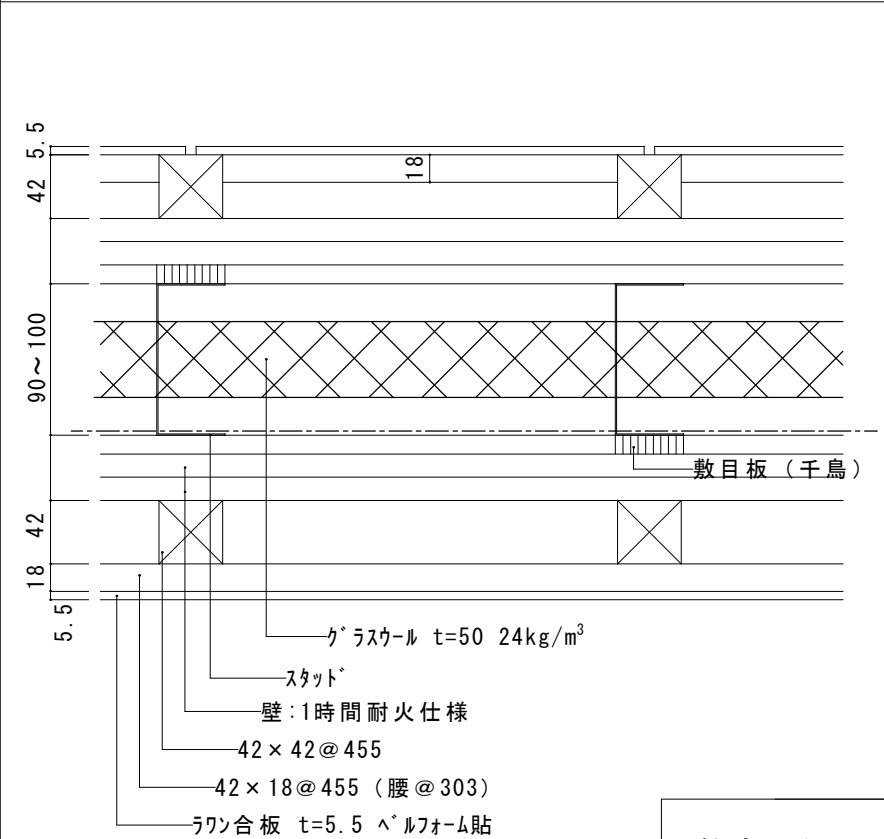
B部 詳細図



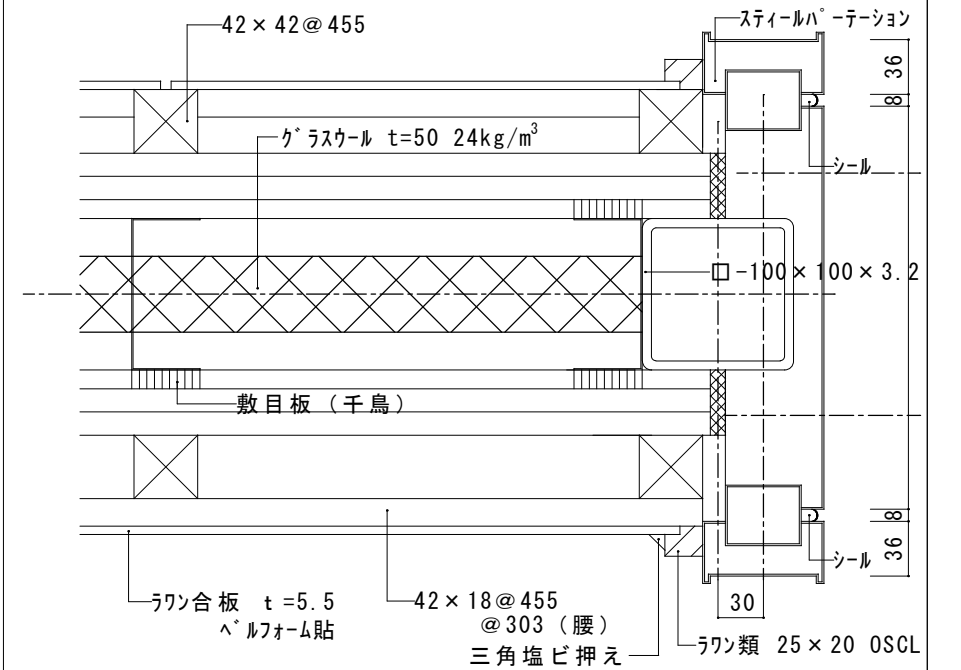
C部 詳細図



D部 詳細図



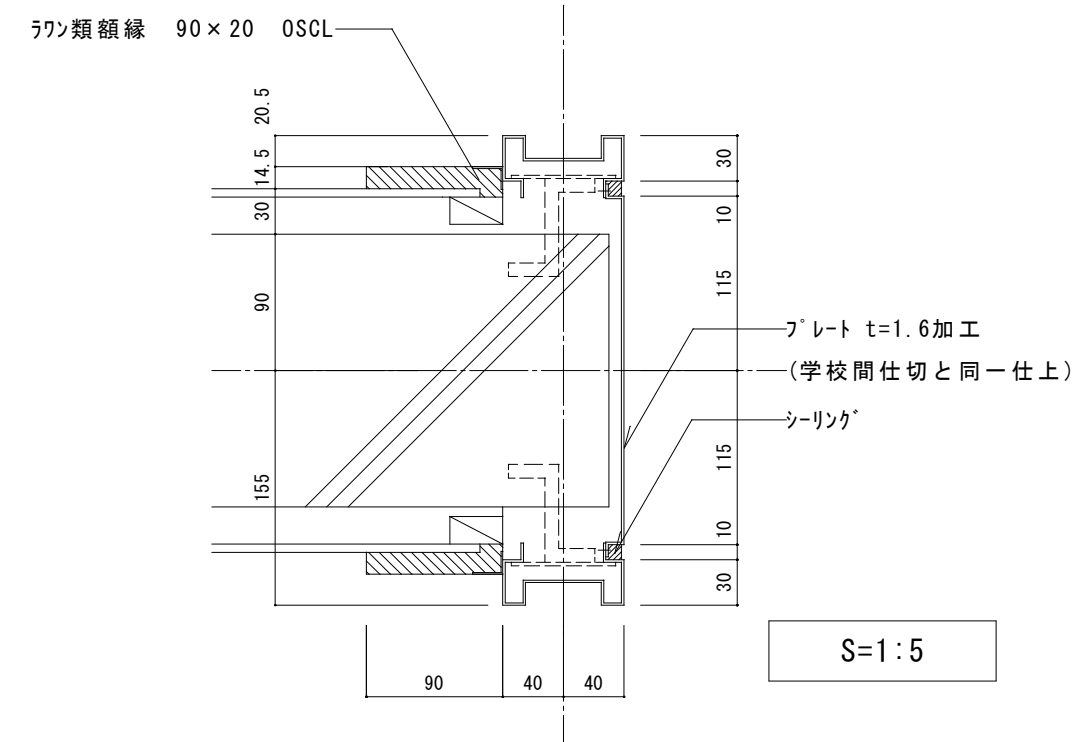
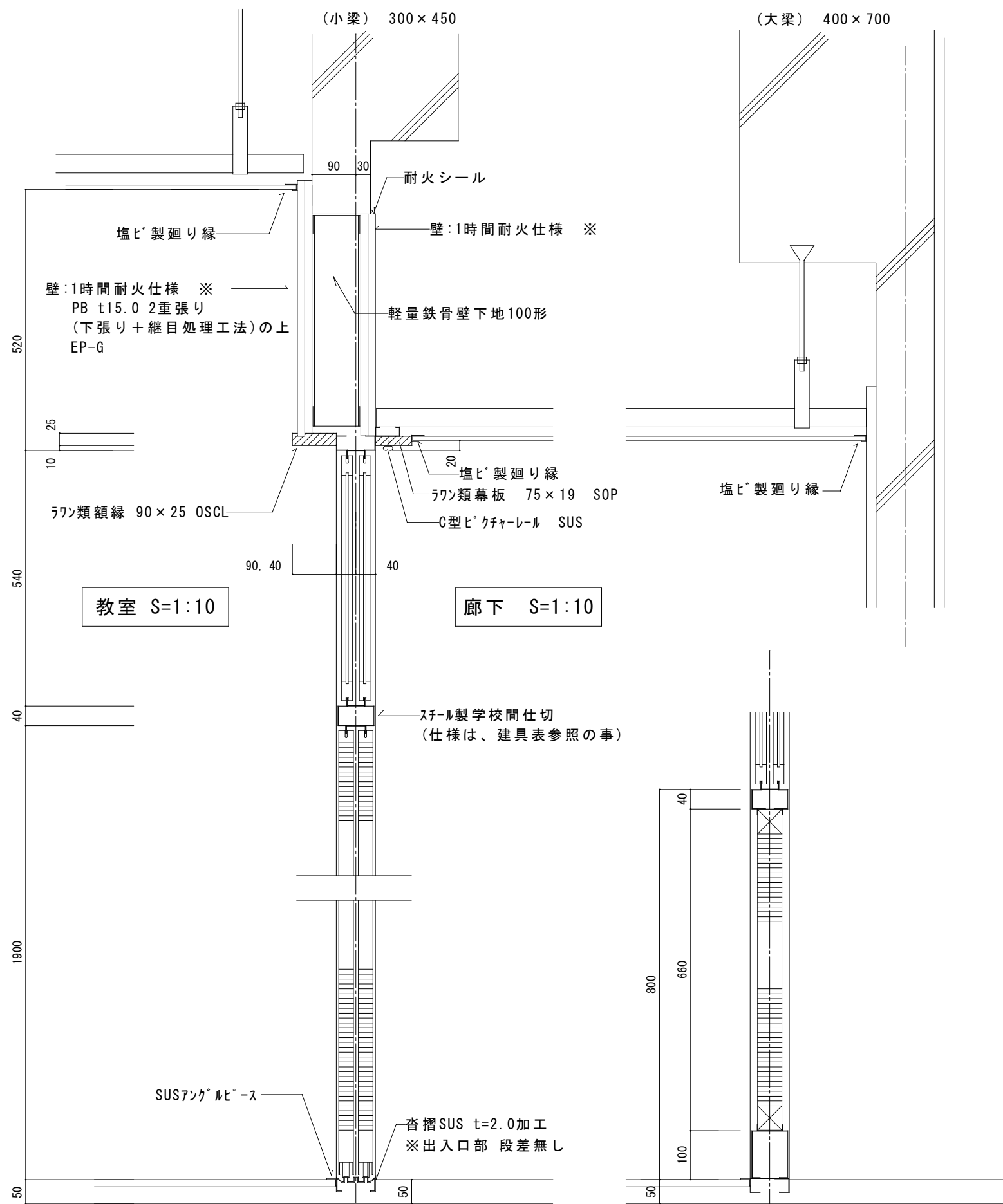
E部 詳細図



教室間仕切壁各部詳細標準図

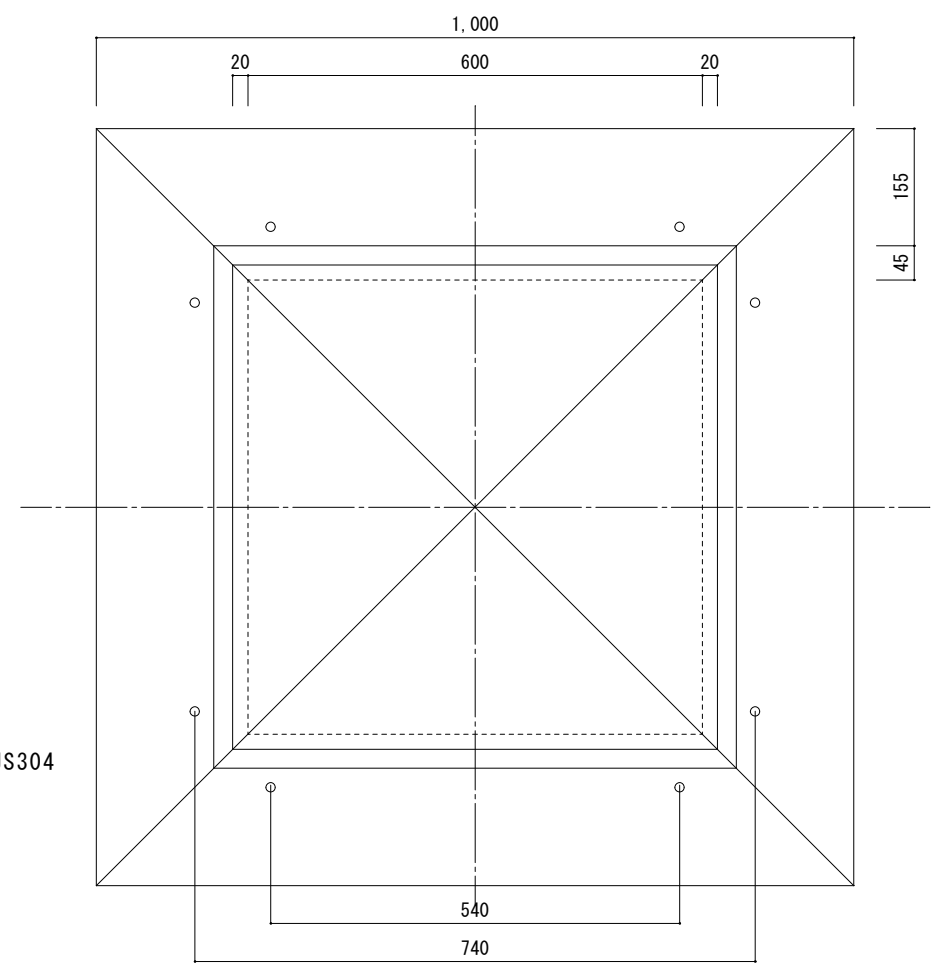
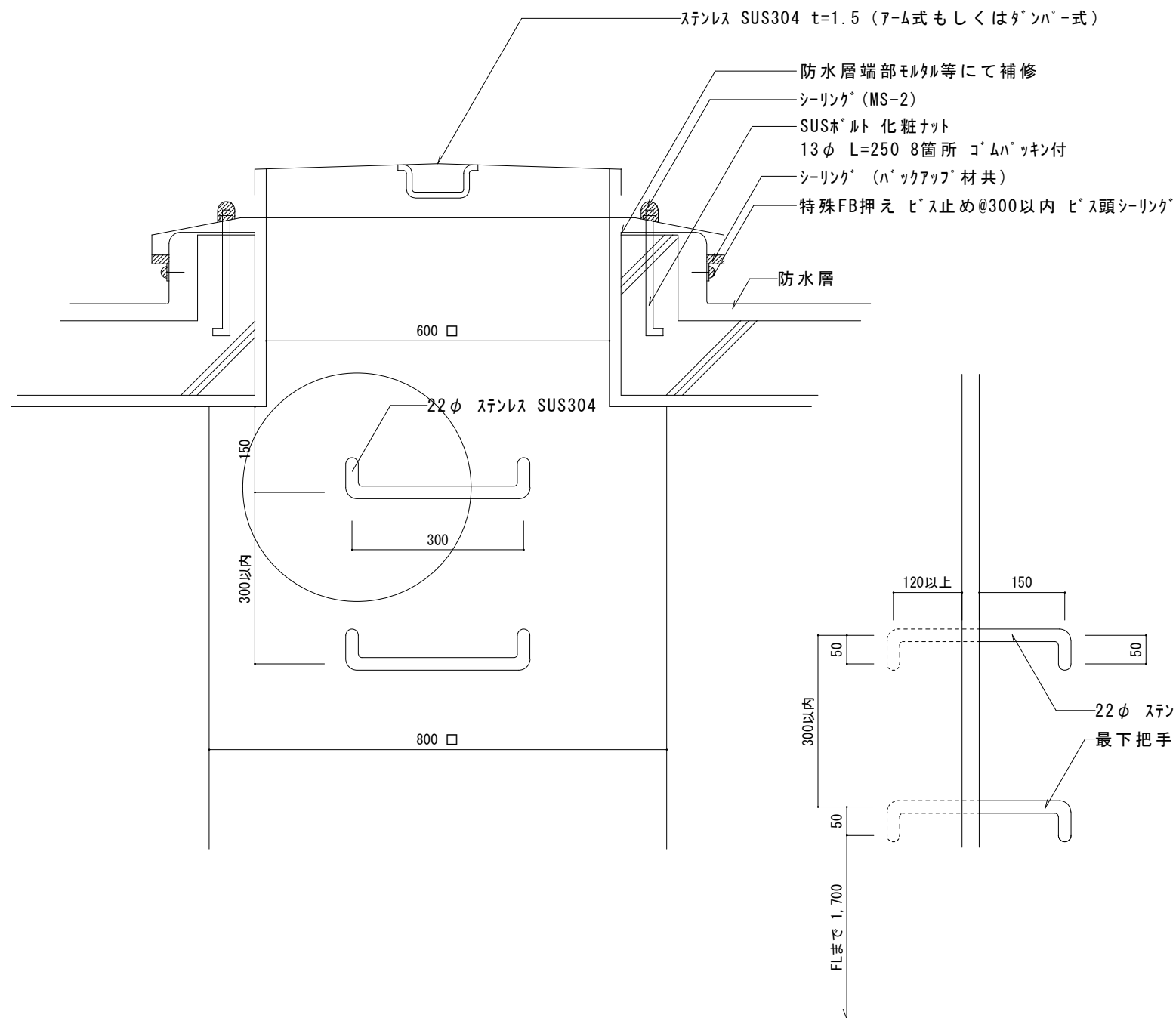
縮尺	1:5	図番	2026年4月 1-1(2)
----	-----	----	-------------------

一宮市建築部  
公共建築課



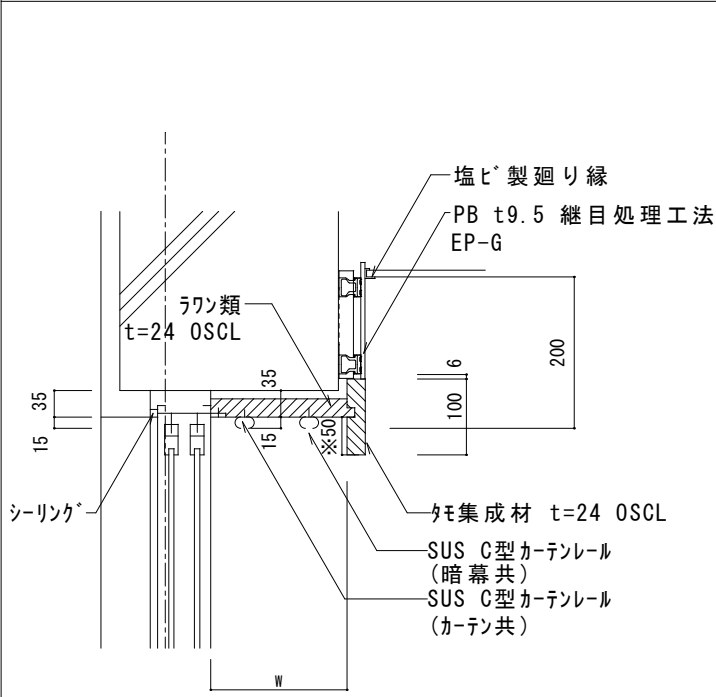
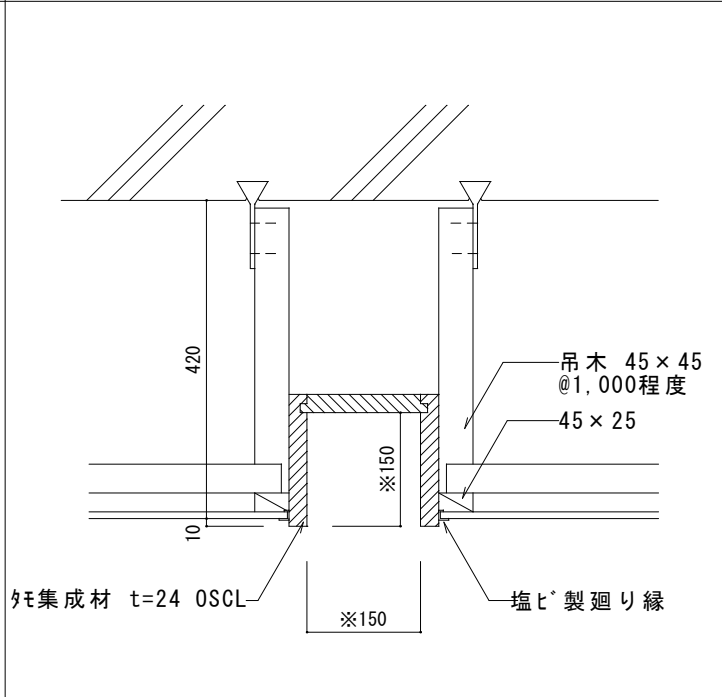
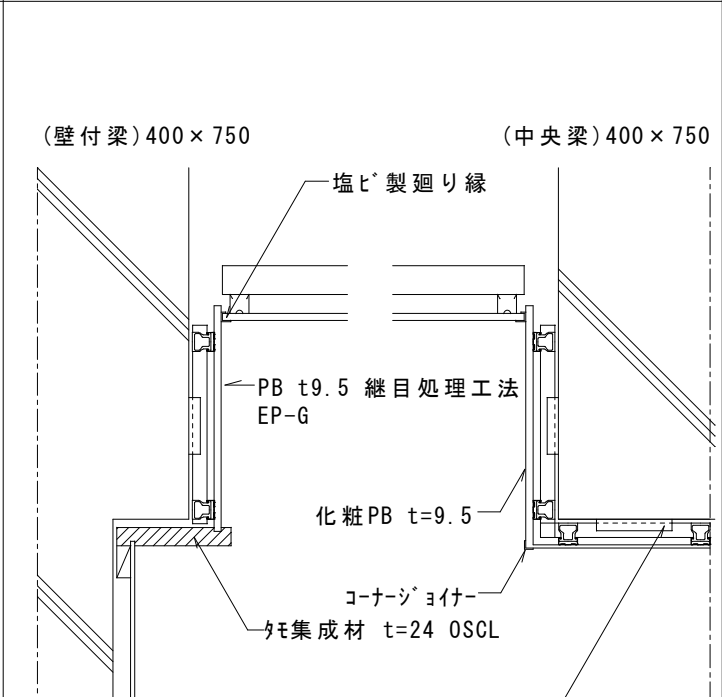
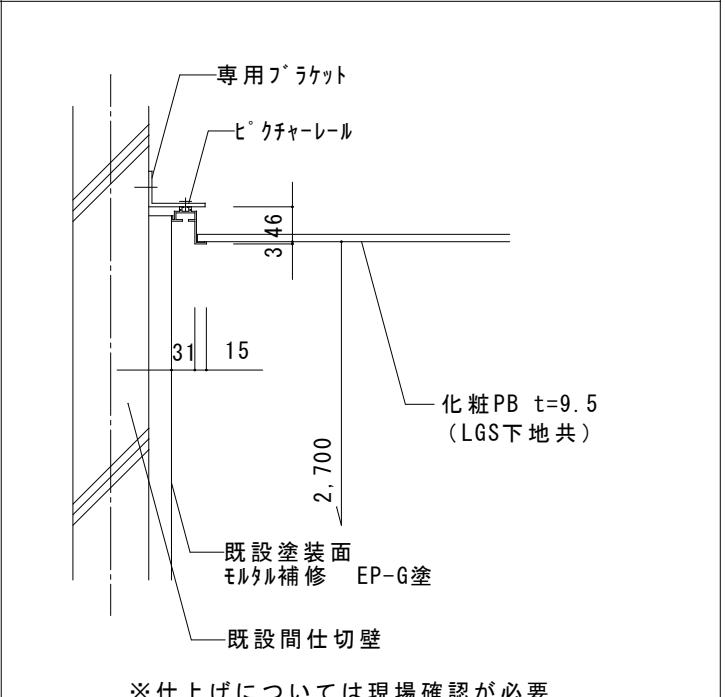
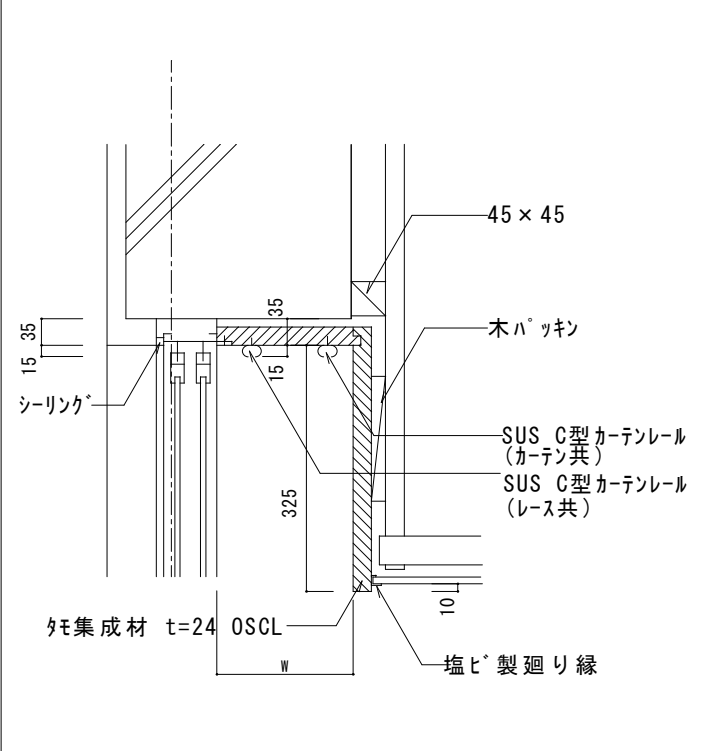
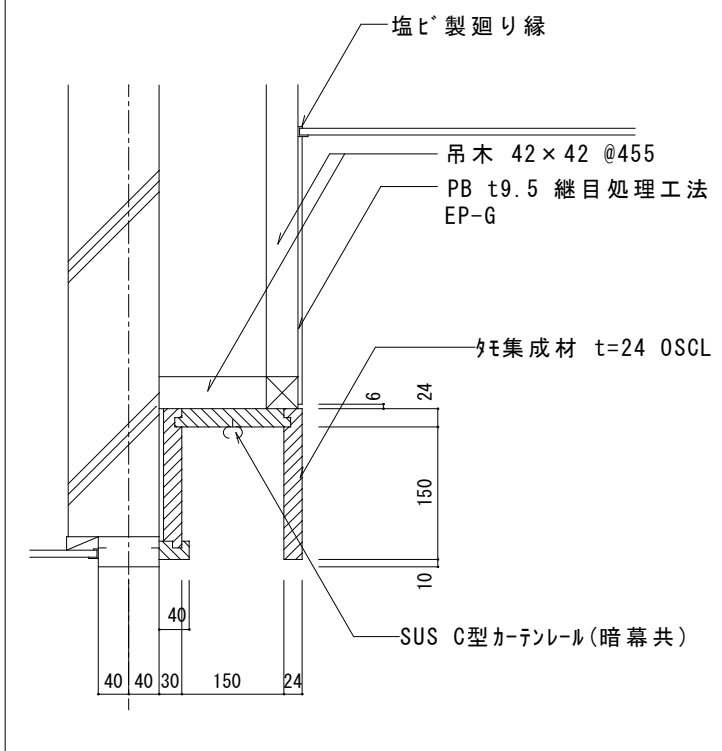
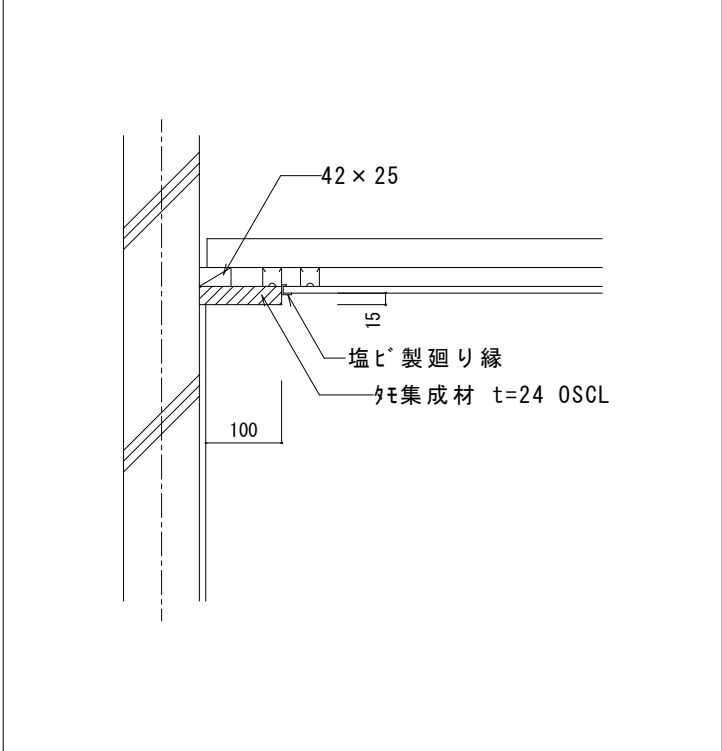
※壁1時間耐火仕様 下記同等品以上 継目処理・4周処理共  
 吉野石膏:タイガード・タイプZ 15.0mm + タイガード・タイプZ 15.0mm (認定番号FP060NP-0174)  
 三協ウテ:強化せっこうボード 15.0mm + 強化せっこうボード 15.0mm (認定番号FP060NP-0246)

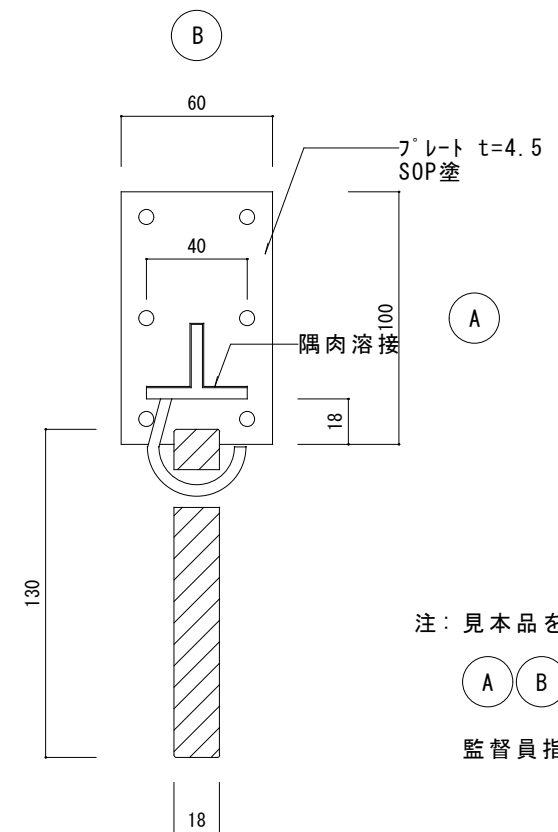
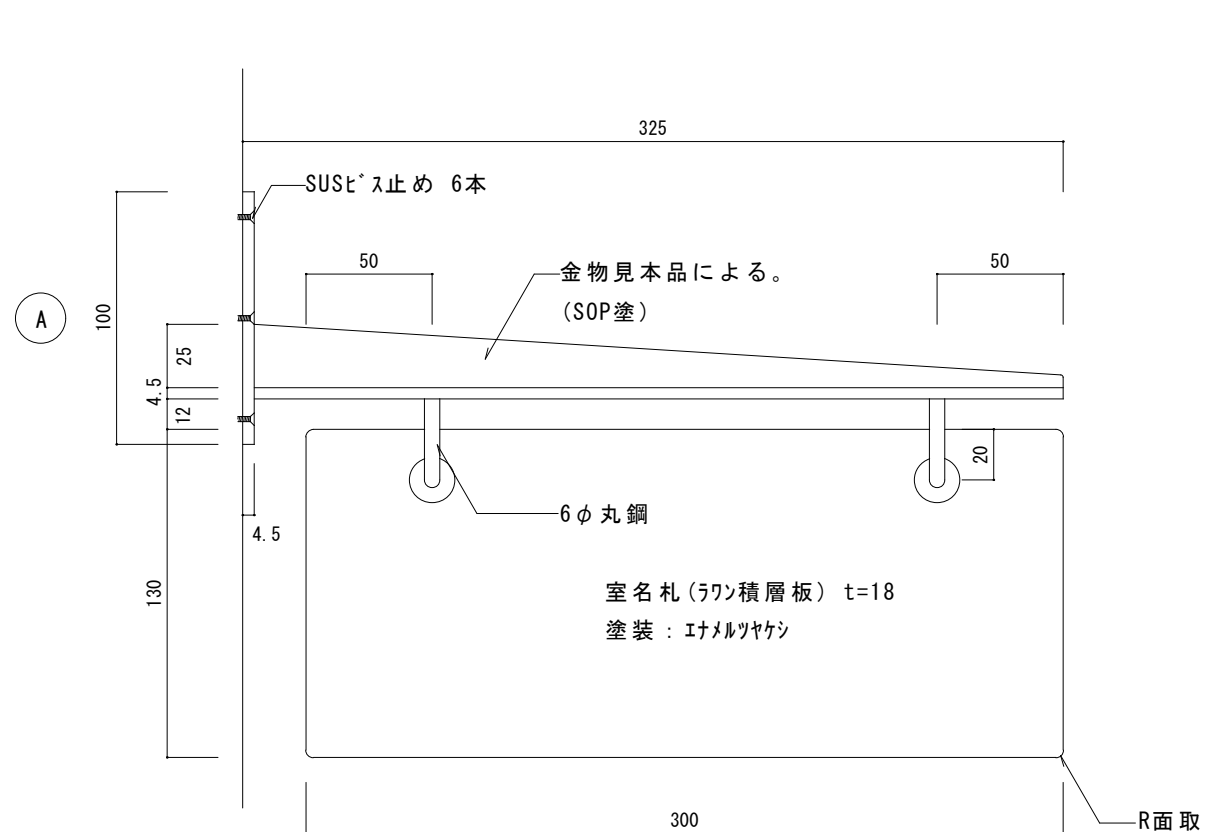
廊下通標準図	縮尺	1:10	図番	2026年4月	一宮市建築部 公共建築課
		1:5		1-2	



※市販品でも可。但し、監督員の承諾を得る事。  
 ※南京錠取付。  
 ※予備錠 1個付。  
 ※改修の場合既設ボルトを利用する事。

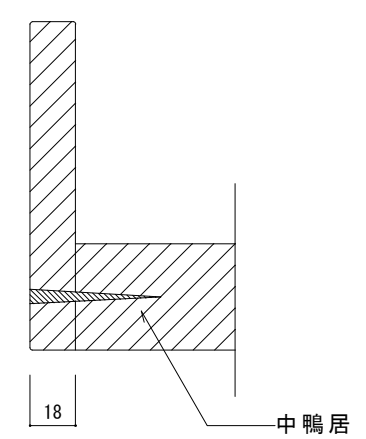
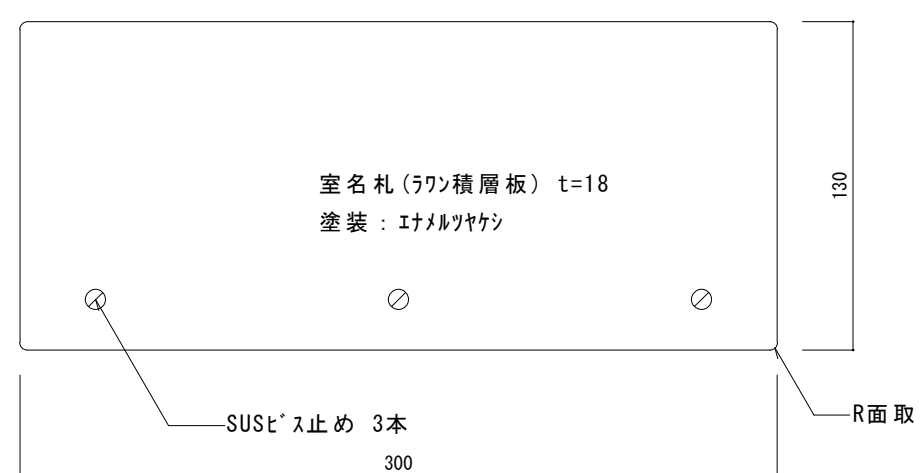
屋根改め口標準図	縮尺	1:10	図	2026年4月	一宮市建築部 公共建築課
			番	1-3	

カーテンBOX 詳細図(一般)	スクリーンBOX 詳細図	梁型詳細図	展示用レール詳細図								
 <p>塩ビ製廻り縁 PB t9.5 継目処理工法 EP-G ラック類 t=24 OSCL シーリング タモ集成材 t=24 OSCL SUS C型カーテンレール (暗幕共) SUS C型カーテンレール (カーテン共)</p> <p>※コンピュータ室、理科室は 150とする。</p>	 <p>吊木 45×45 @1,000程度 45×25 塩ビ製廻り縁 タモ集成材 t=24 OSCL</p> <p>(L=3,000 ---コンピュータ室 L=2,200 ---コンピュータ室以外 ※プロジェクタースクリーン用は 180、コンピュータ室は 200とする。)</p>	 <p>(壁付梁) 400×750 (中央梁) 400×750 塩ビ製廻り縁 PB t9.5 継目処理工法 EP-G 化粧PB t=9.5 コーナジョイナー タモ集成材 t=24 OSCL 溶接トメ</p> <p>※図工室は、中型アルミカーテンレール、ランナー共とする。</p>	 <p>専用ブラケット ビクチャーレール 化粧PB t=9.5 (LGS下地共) 既設塗装面 モルタル補修 EP-G塗 既設間仕切壁</p> <p>※仕上げについては現場確認が必要</p> <p>ビクチャーレール タキ様 F-1S フック タキ様 CAフック 30kg (4個/m) ハンガー タキ様 セフティハンガー-セットAタイプ 30kg (4個/m) ※ハンガー有無は図示による</p>								
カーテンBOX 詳細図(校長室・更衣室・放送室)	暗幕BOX 詳細図(理科室・コンピュータ室)	図掛 取付詳細図(理科室・コンピュータ室)	カーテンBOX・暗幕BOX 幅								
 <p>45×45 木ハッキン SUS C型カーテンレール (カーテン共) SUS C型カーテンレール (レース共) タモ集成材 t=24 OSCL 塩ビ製廻り縁</p>	 <p>塩ビ製廻り縁 吊木 42×42 @455 PB t9.5 継目処理工法 EP-G タモ集成材 t=24 OSCL SUS C型カーテンレール(暗幕共)</p>	 <p>42×25 塩ビ製廻り縁 タモ集成材 t=24 OSCL</p>	<table border="1" data-bbox="2220 1228 2760 1675"> <thead> <tr> <th>W</th> <th></th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>150</td> <td>レース ケースメント ドレープ レース + ドレープ</td> </tr> <tr> <td>120</td> <td>ブラインド</td> </tr> <tr> <td>180</td> <td>ブラインド + レース 暗幕 + ケースメント 暗幕 + ドレープ</td> </tr> </tbody> </table>	W		150	レース ケースメント ドレープ レース + ドレープ	120	ブラインド	180	ブラインド + レース 暗幕 + ケースメント 暗幕 + ドレープ
W											
150	レース ケースメント ドレープ レース + ドレープ										
120	ブラインド										
180	ブラインド + レース 暗幕 + ケースメント 暗幕 + ドレープ										
カーテンBOX 外 各部詳細標準図			<table border="1" data-bbox="2220 1873 2760 1953"> <tr> <td>縮尺</td> <td>1:10</td> <td>図番</td> <td>2026年4月 2-1</td> <td>一宮市建築部 公共建築課</td> </tr> </table>	縮尺	1:10	図番	2026年4月 2-1	一宮市建築部 公共建築課			
縮尺	1:10	図番	2026年4月 2-1	一宮市建築部 公共建築課							



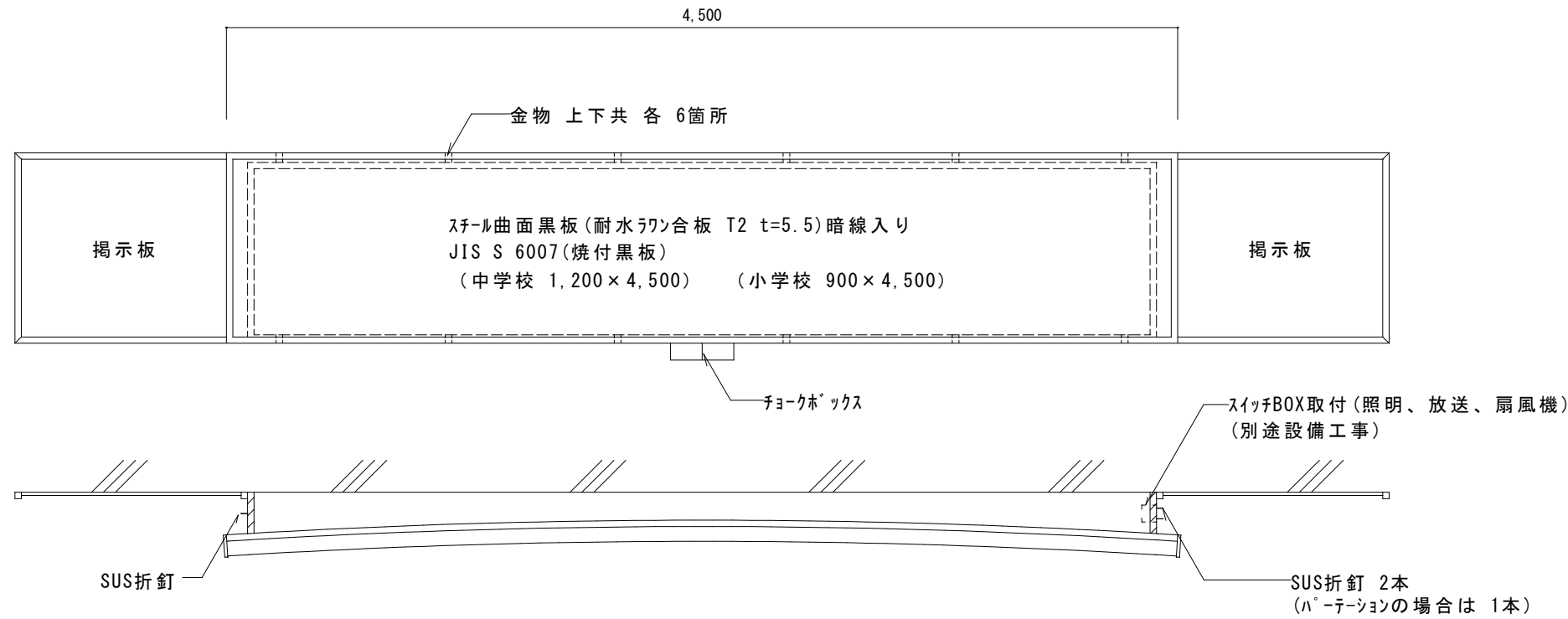
持出型

注: 見本品を提出し、承諾後製作のこと。  
 (A) (B) 部分の寸法は、現場取付位置により  
 監督員指示の上決定。

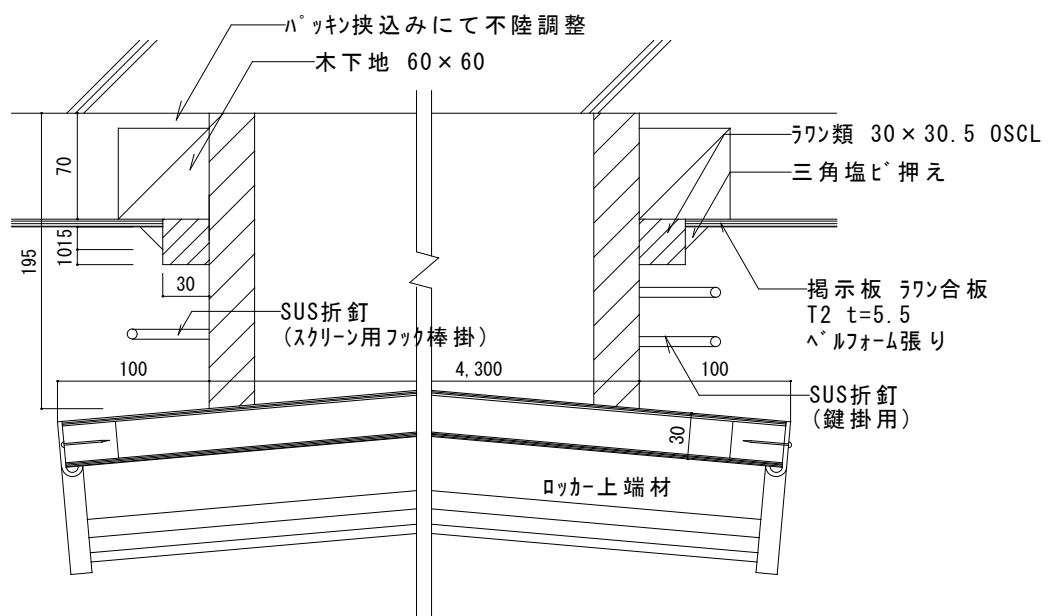


正付型

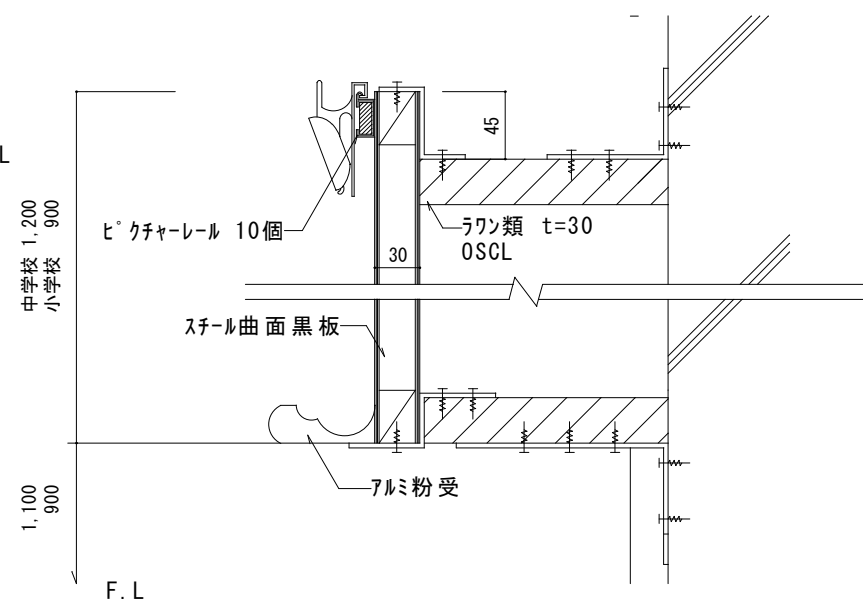
室名札標準図	縮尺 1:3	図	2026年4月	一宮市建築部 公共建築課
		番	2-2	



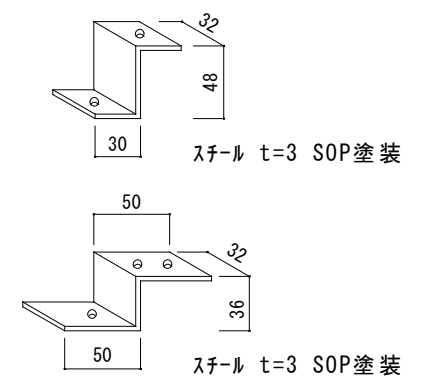
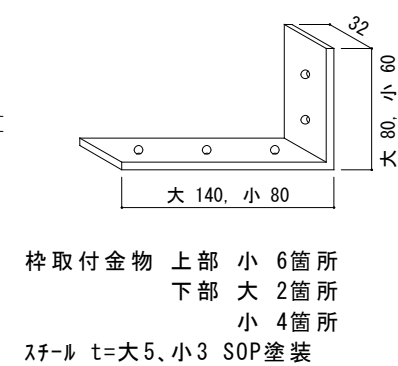
S=1:30



S=1:5



S=1:5



スチール黒板取付金物 上部下部共 各 6箇所

S=1:5

※マグネット(40φ 白) 10個付

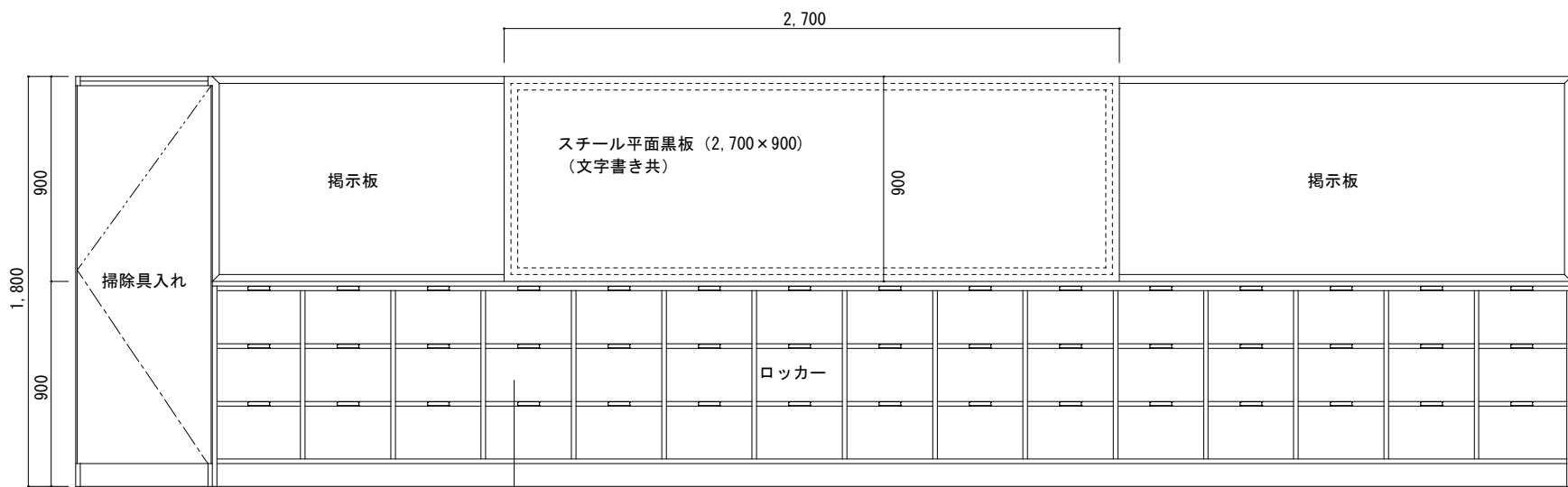
曲面黒板標準図

縮尺 1:5  
1:30

図番 2026年4月  
2-3

一宮市建築部  
公共建築課

平面黒板・生徒用ロッカー S=1:30

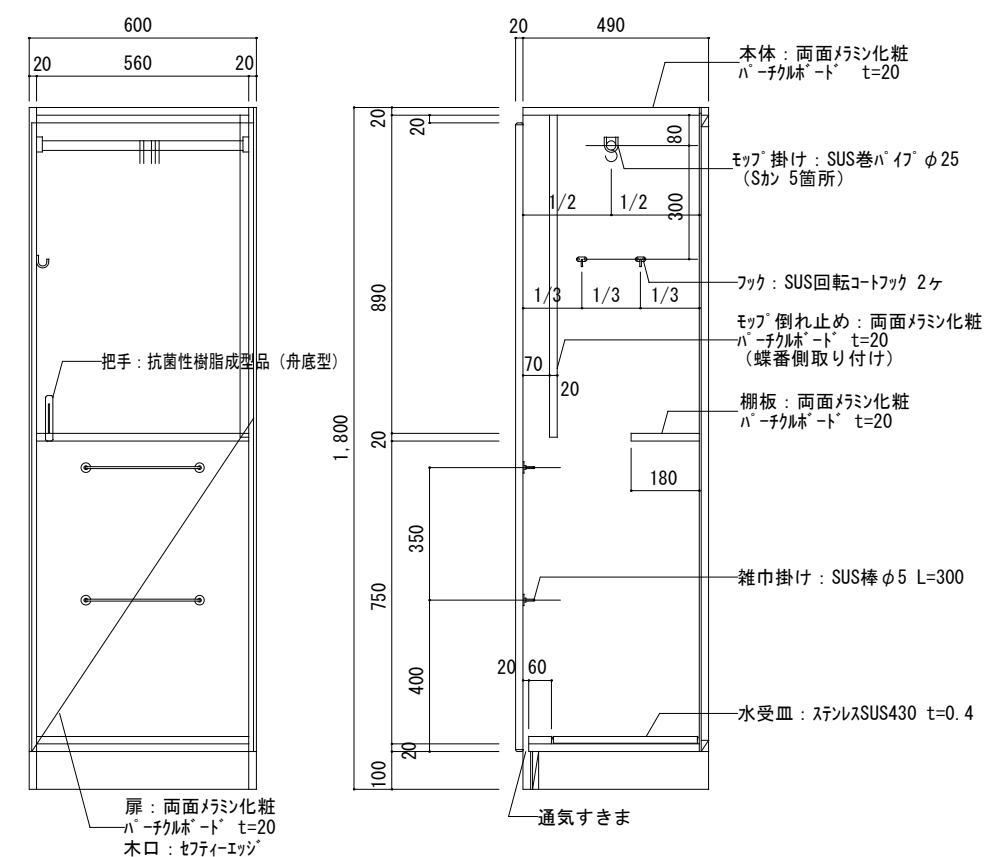


15列3段=45人分  
1人分最小有効W360以上確保

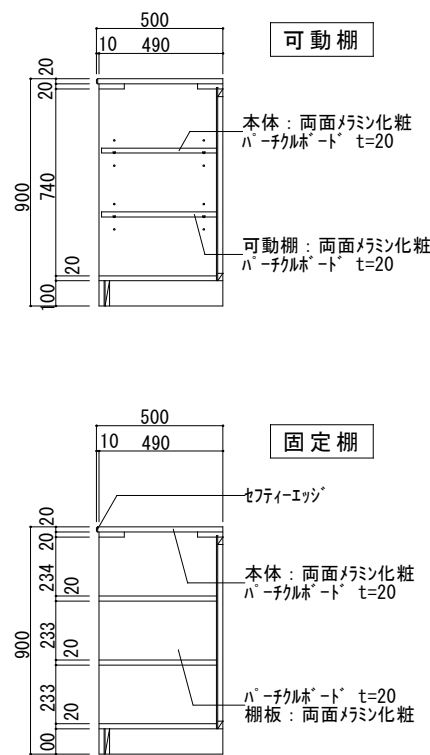
※文字書は、学校側と調整し監督員の承諾を受けること。

1 本体・扉・棚板は両面珪藻土ハ-チルホ-ド 20mm厚 F☆☆☆☆規格適合品、JIS-A5908適合品を使用すること。	5 開き戸は両面珪藻土ハ-チルホ-ド 20mm厚1枚物で制作すること。
2 本体・棚板の木口処理は 背面の見え隠れ部を含む木口をフラットエッジ加工（塩ビシートネットメルト練付処理）とすること。	6 巾木・台輪は合板下地ネリ合板貼りを使用すること。
最上部天板、開き扉の木口はセフティーエッジ（塩ビシート3mm厚ネットメルト接着 7-ル加工処理）とすること。	7 引手・把手は抗菌性の樹脂成型品を使用すること。
3 裏板は珪藻土合板 4mm厚 片面フラット加工とし 芯材ヒツジは450mm以内とすること。	8 蝶番はスライト蝶番を使用すること。
4 可動棚の棚受けはSUS製ダボ φ8を使用し、棚板はダボ受け加工（ジャクリ処理）をすること。	9 ネムプレートは、1教室につき予備品10個用意すること。（仕様は図示による）

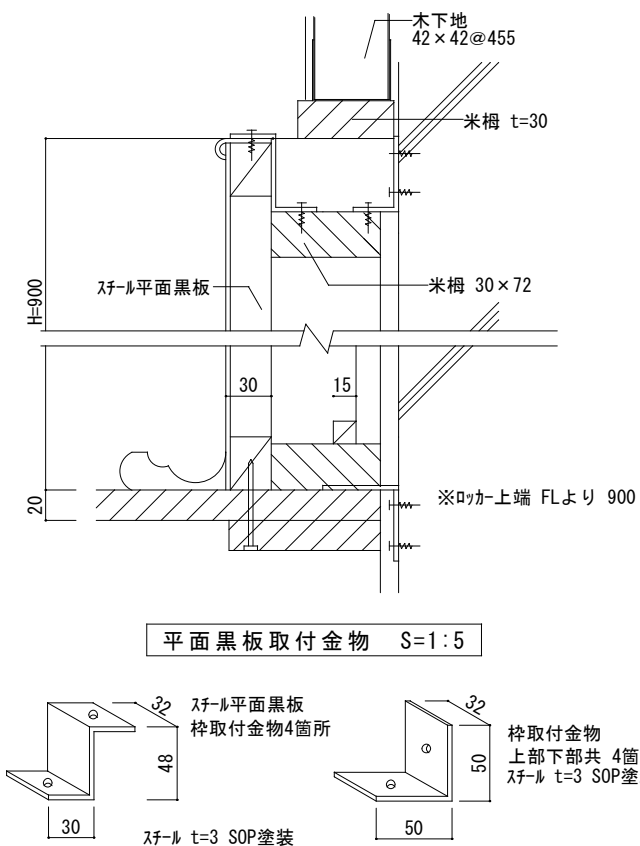
掃除用具入れ詳細図 S=1:20



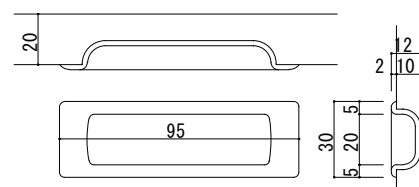
生徒用ロッカー断面詳細図 S=1:30



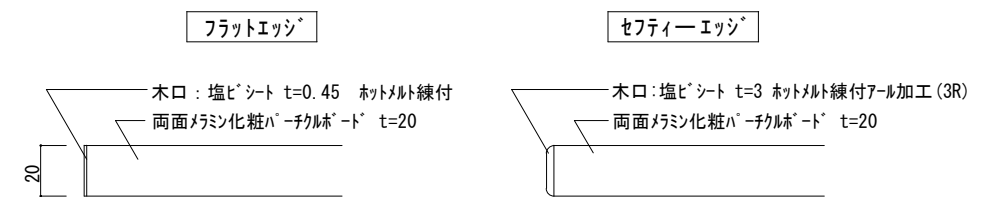
平面黒板 上下部取付詳細図 S=1:5



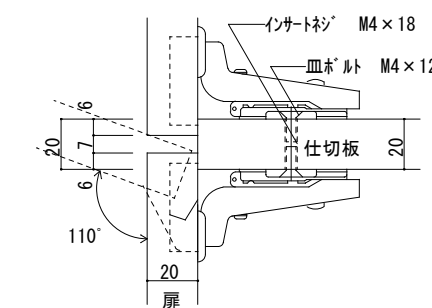
引手（樹脂成型品）詳細図



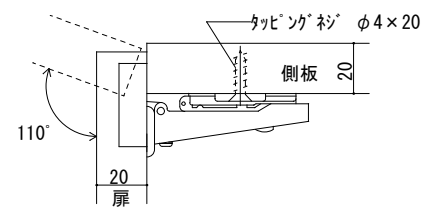
木口形状詳細図



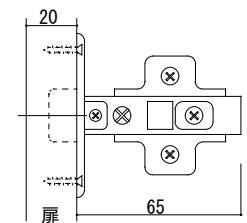
中仕切り付け



側板取り付け



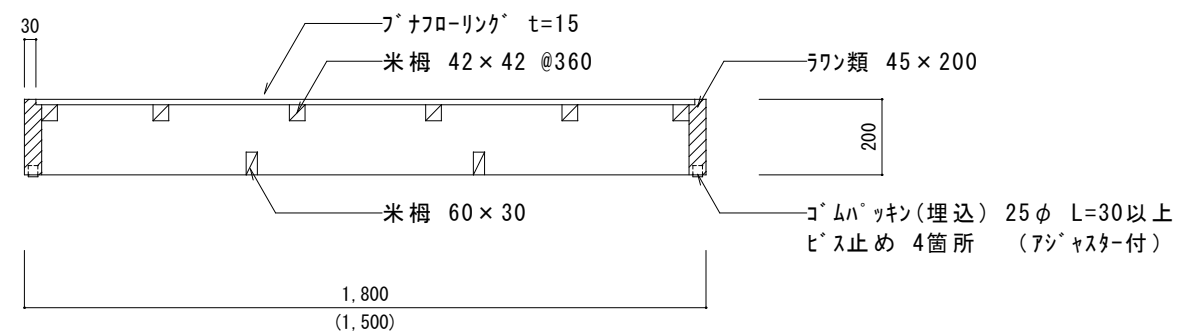
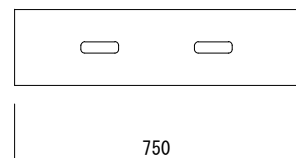
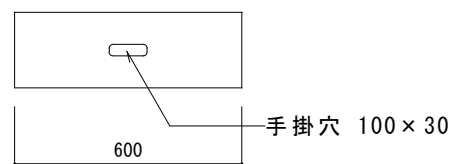
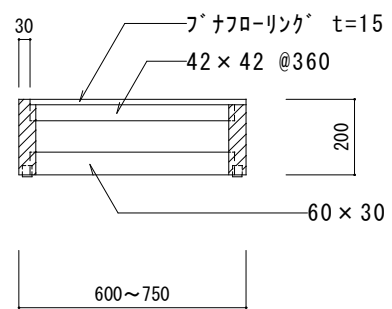
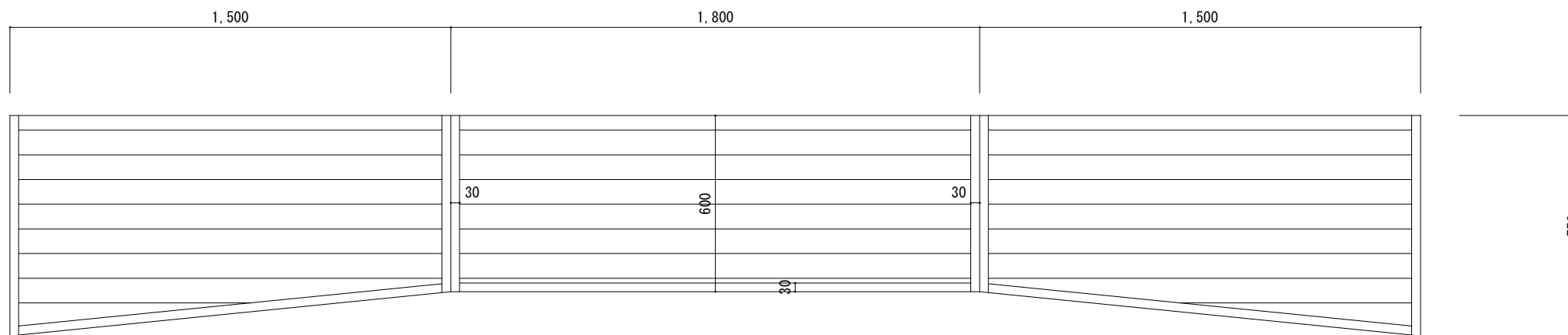
スライト蝶番110°詳細図



平面黒板・生徒用ロッカー  
掃除用具入標準図

縮尺	1:5 1:20 1:30	図番	2026年4月 2-4
----	---------------------	----	----------------

一宮市建築部  
公共建築課



※塗装：水性2液型ポリウレタン  
 ※仕口：接着剤使用のこと

踏台標準図

縮尺

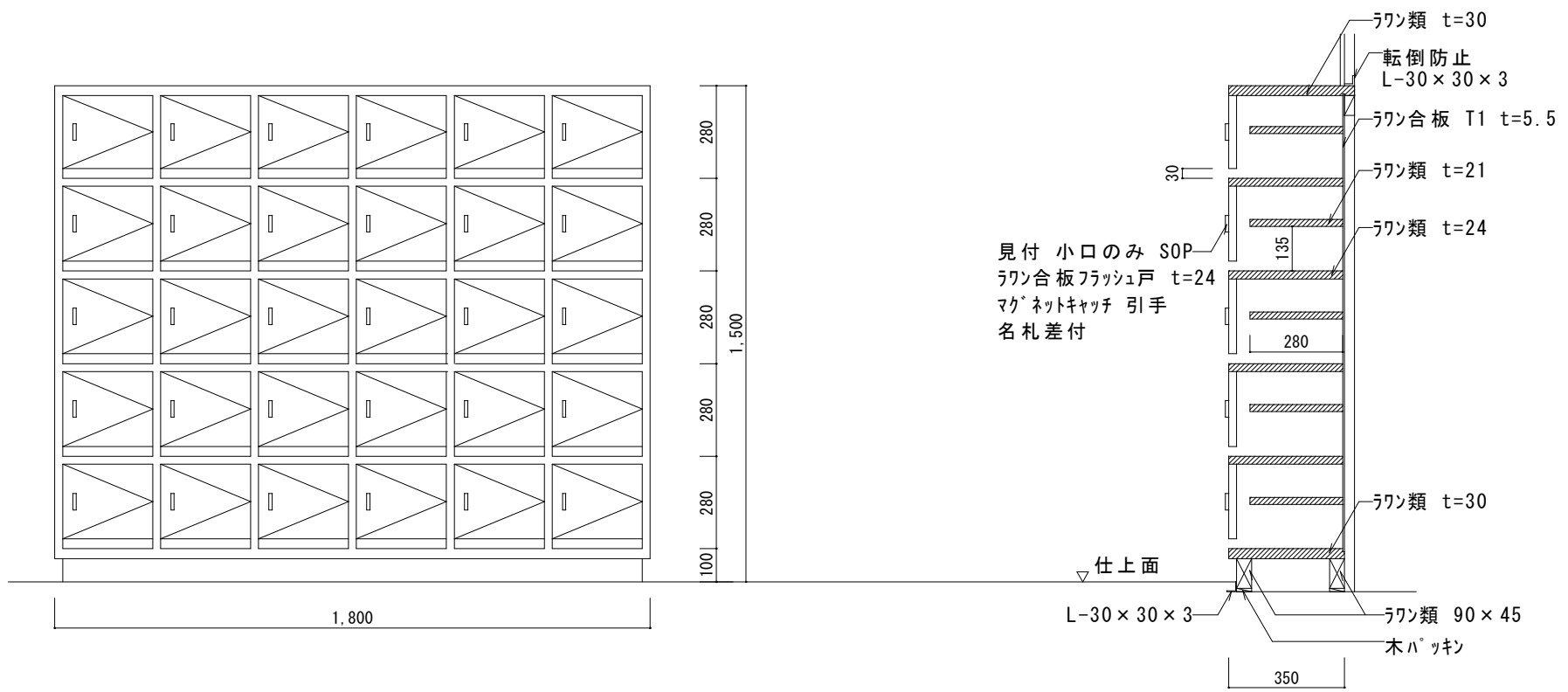
1:20

図番

2026年4月

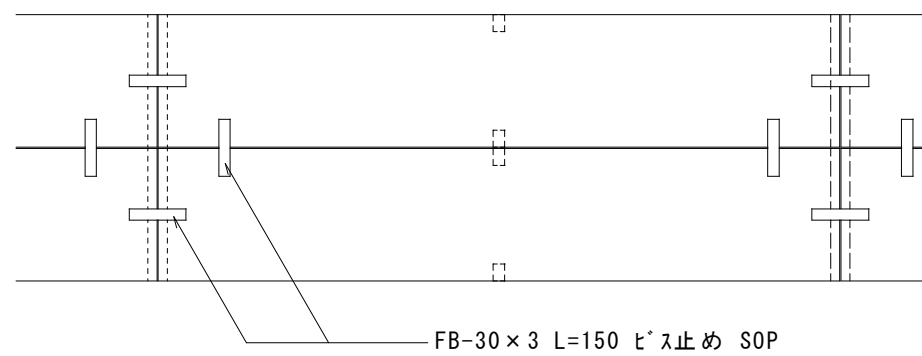
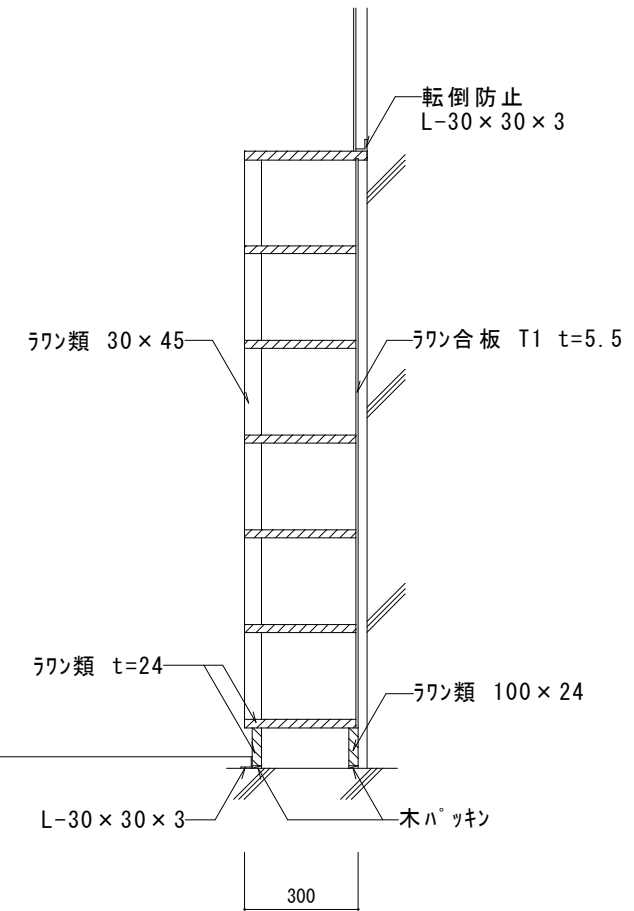
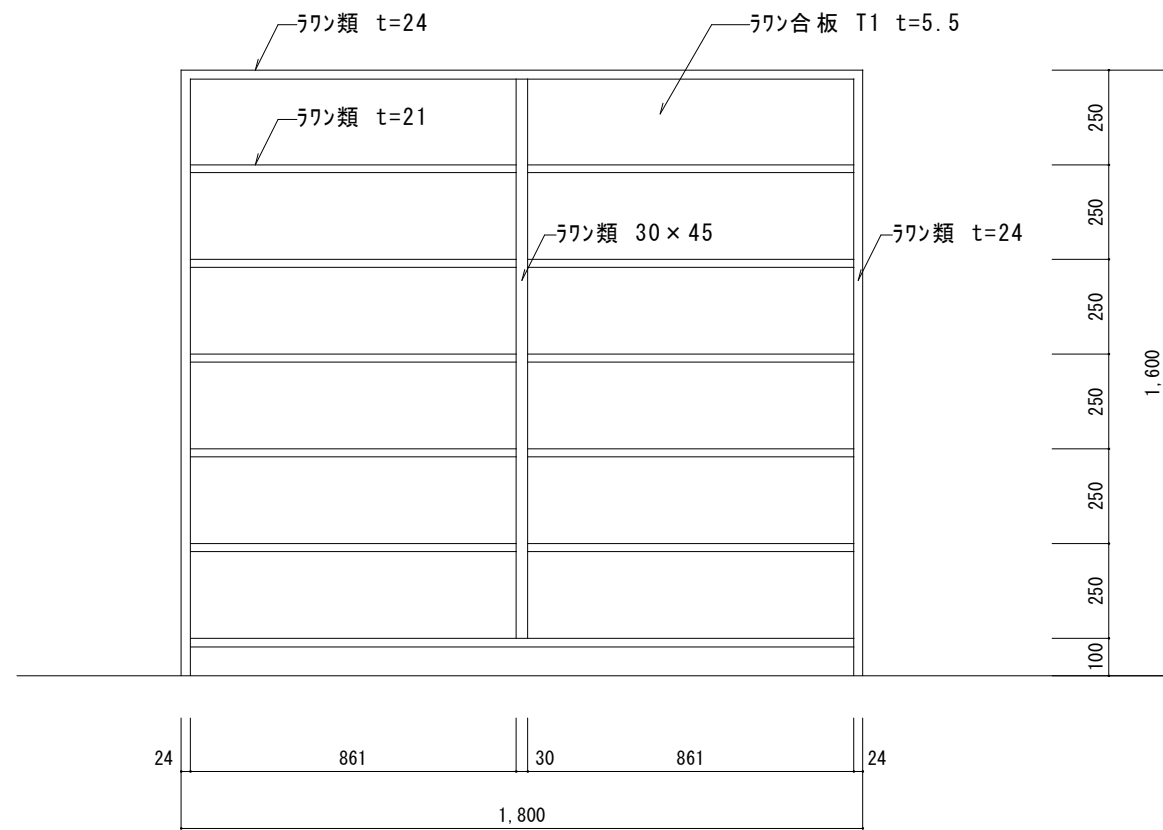
2-5

一宮市建築部  
 公共建築課



特記事項：教師用として使用する場合、扉は上記のものを使用すること。  
 又、来賓用の扉は、アクリル板 t=5 引手、マグネットキャッチ付にすること。  
 ：図面中、ラワン類 t=24、t=21と表示してあるものは、ラワン-コア t=24、t=21としても良い。  
 ：外部 SOP、内部 OS塗りとする。

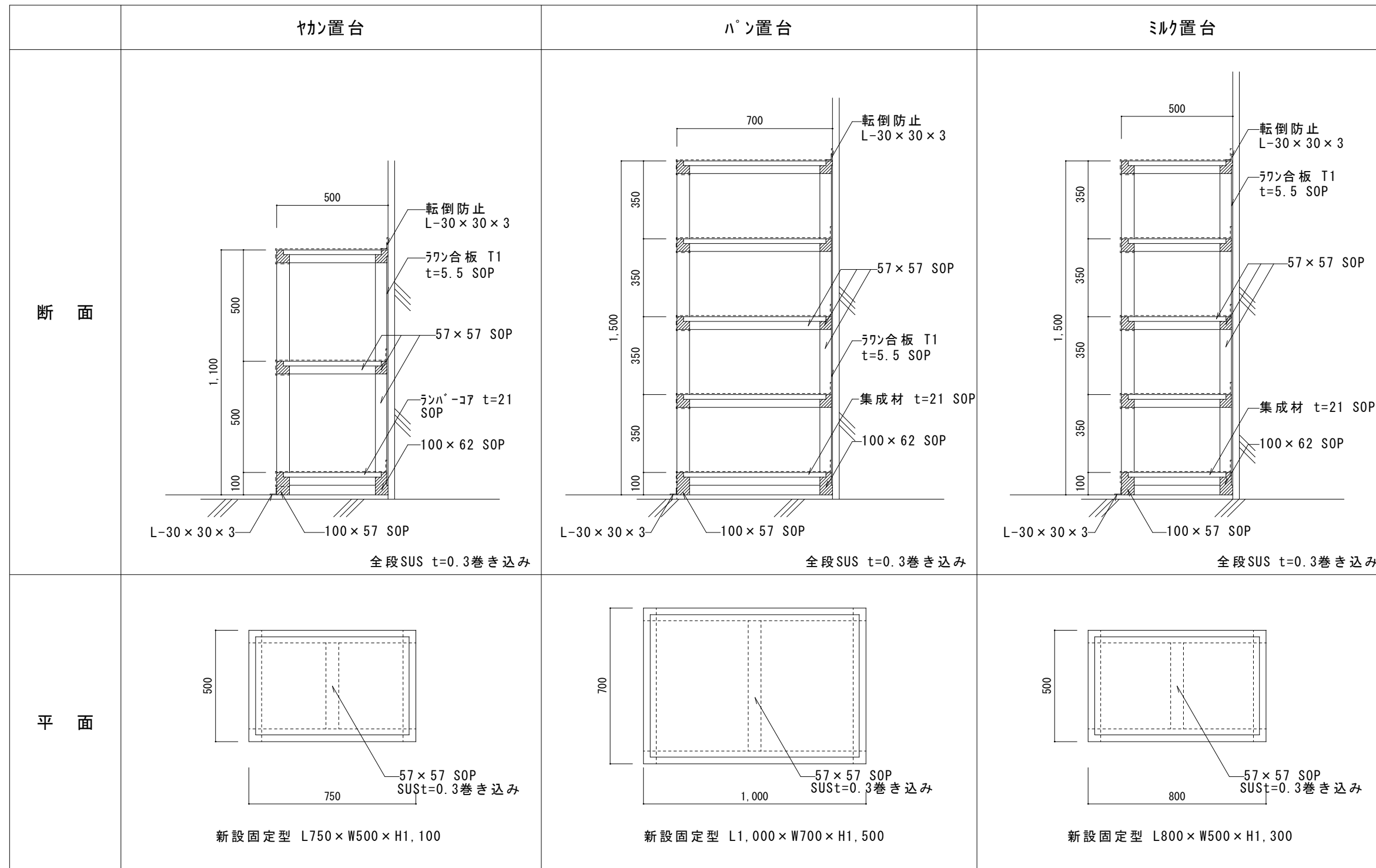
来賓用下足入標準図	縮尺 1:20	図番	2026年4月	一宮市建築部 公共建築課
			2-6	



※塗装：内装のみ OS、その他は SOP塗りとする。

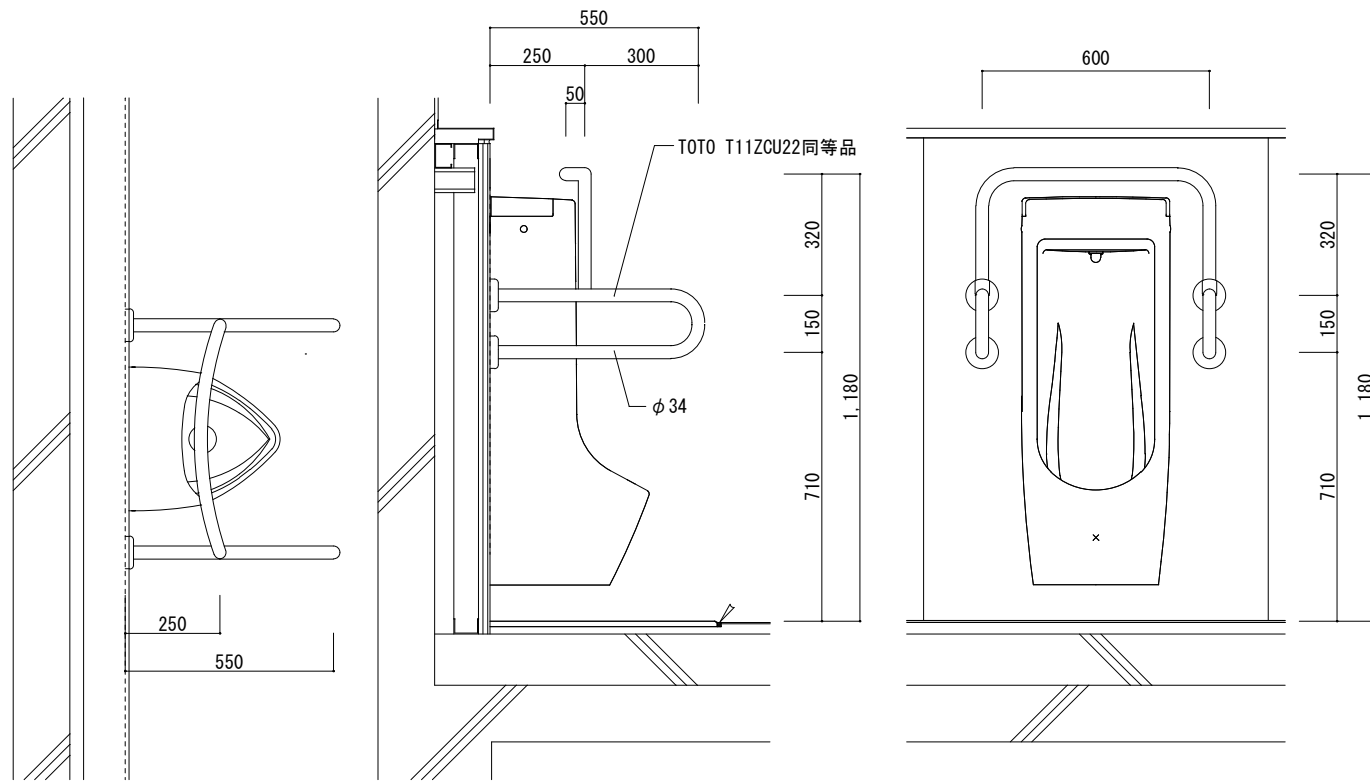
※図面中 ラワン類 t=24、t=21と表示してあるものは、ラワン類 t=24、t=21としても良い。

生徒用下足入標準図	縮尺	1:20	図	2026年4月	一宮市建築部 公共建築課
			番	2-7	

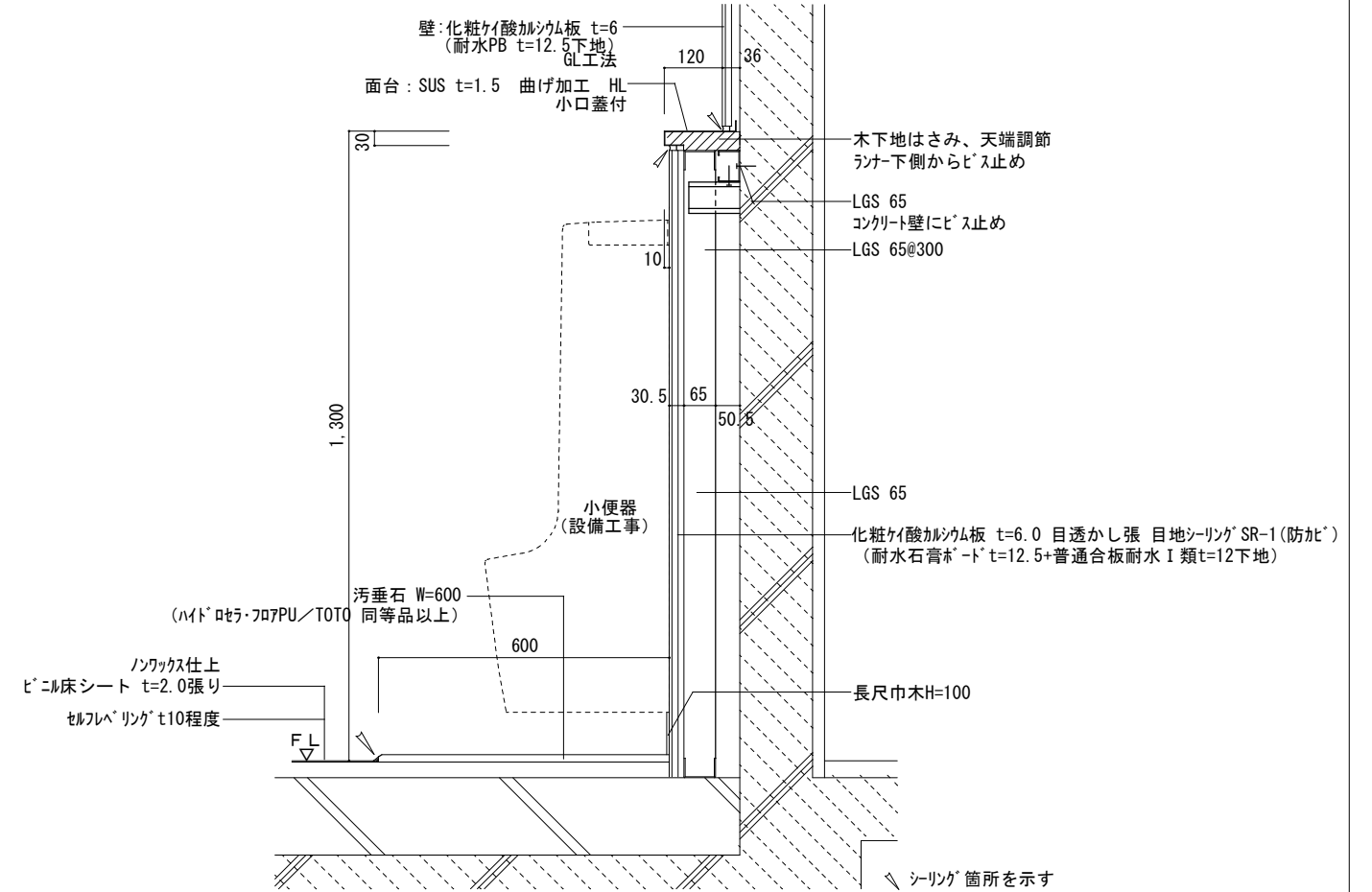


※各台が連続して置かれる場合には、監督員の承諾を得て部分的に柱を省略することができる。  
 ※背板 ラワン合板 T1 t=5.5 SOPは、壁付部分のみ張ること。  
 ※特記なき限り材質は米桐とする。  
 ※全てSOP 3回塗り。

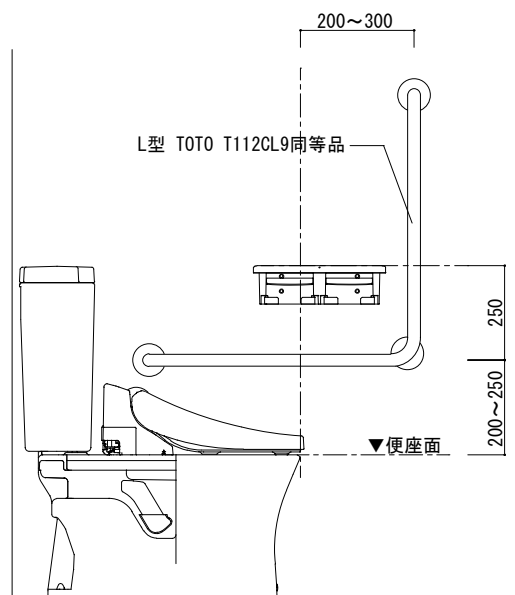
小便器用手摺 S=1:20



小便器床及び面台詳細図（乾式） S=1:15



大便器用手摺 S=1:20

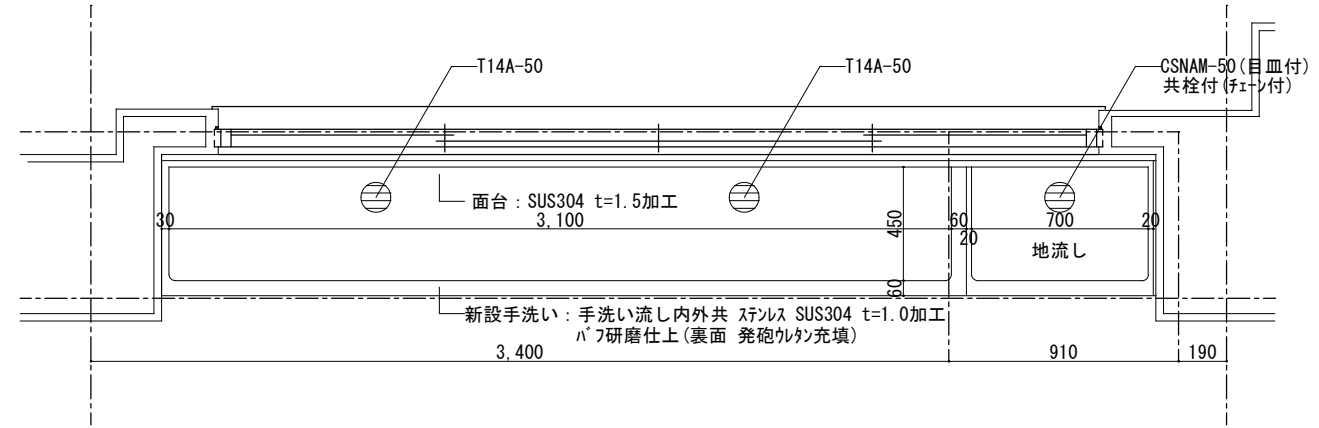


・洋便器芯は、手摺芯から水平距離350mm程度とする。

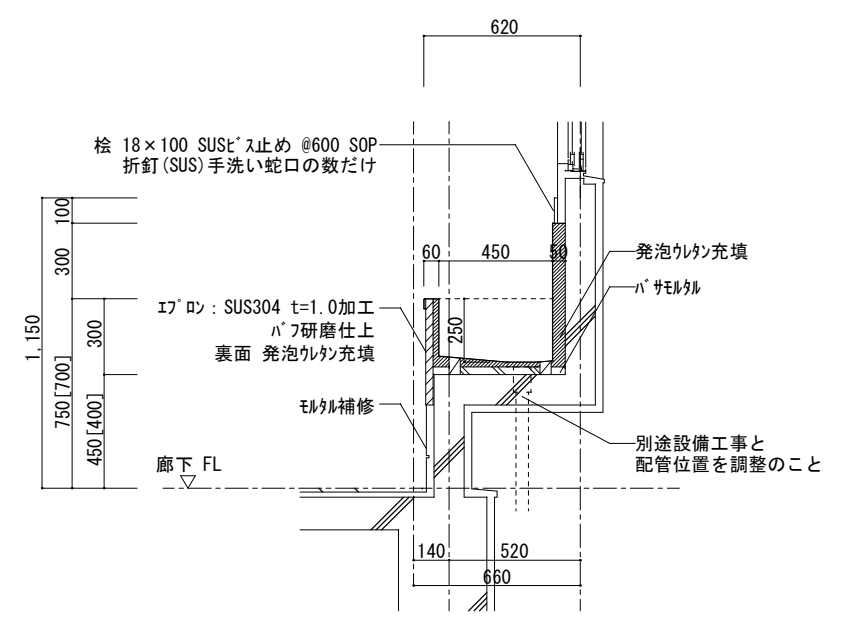
■特記事項

- ・手摺は、TOTO T112CL9同等品とする。
- ・各手摺は、手摺メカ-取付仕様もしくは、下記により設置すること。  
新設RC・CB壁の場合は、壁筋に溶接の上、手摺設置  
LGS壁の場合は、普通合板耐水I類 (t12.0)等による下地補強の上、手摺設置  
RC直張り (GL工法)の場合は、あと施工アンカ-周囲モルタル詰めの上、手摺設置
- ・手摺の根元には、SUS化粧丸座を取付けること。
- ・手摺寸法は参考とし、衛生陶器・スイッチ・センサー等の取付位置を確認の上、監督員と協議により決定する。
- ・和便器手摺位置は和便器先端から150mm程度とする。

手洗い平面図

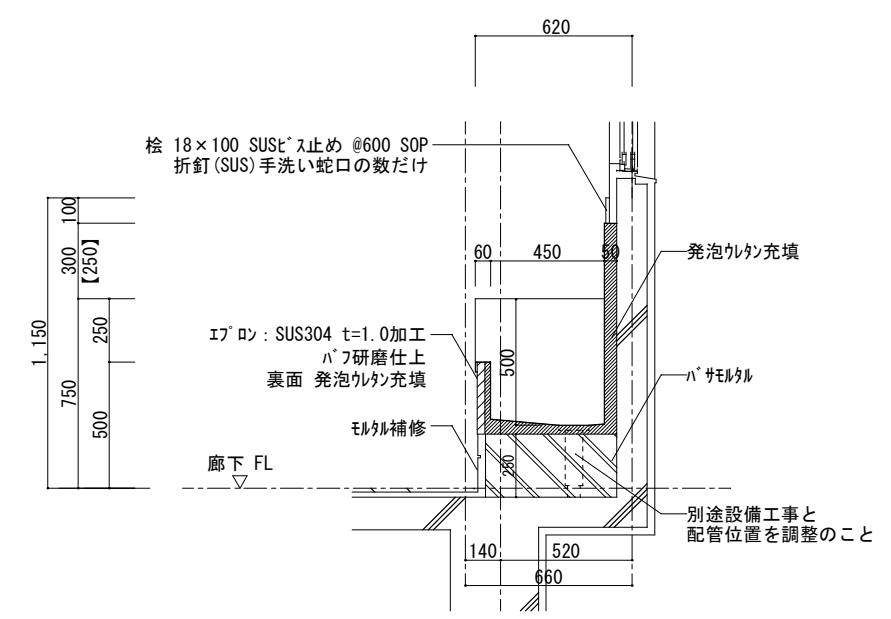


2F以上の手洗い断面図



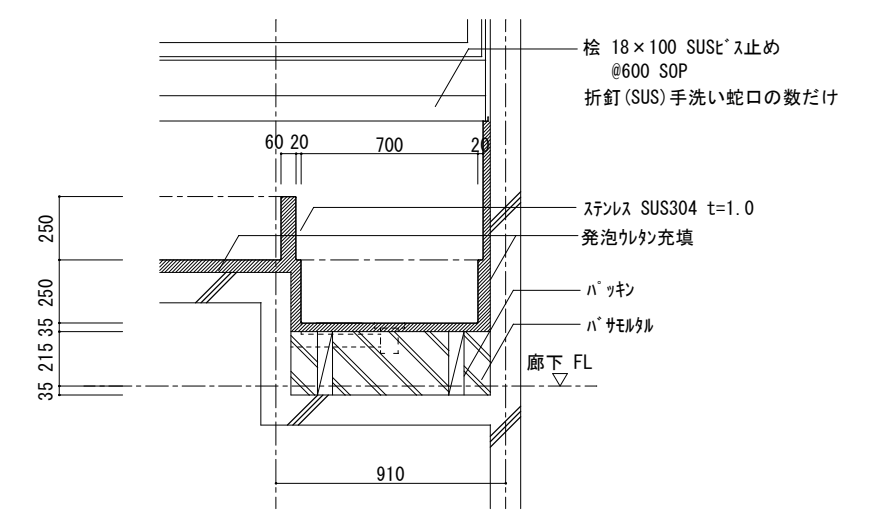
※ [ ] 内寸法は、小学校に適用する。  
流し廻り シーリング のこと。

1F地流し断面図



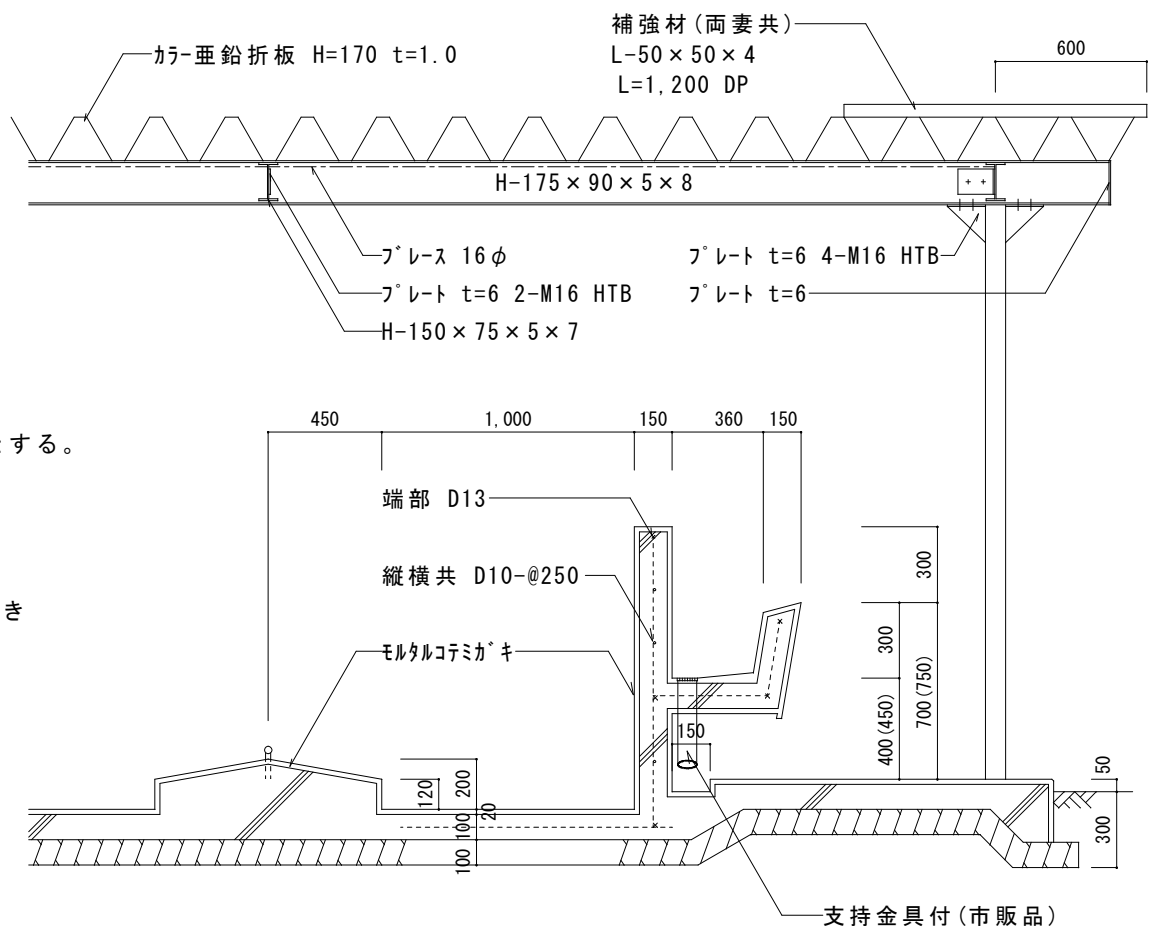
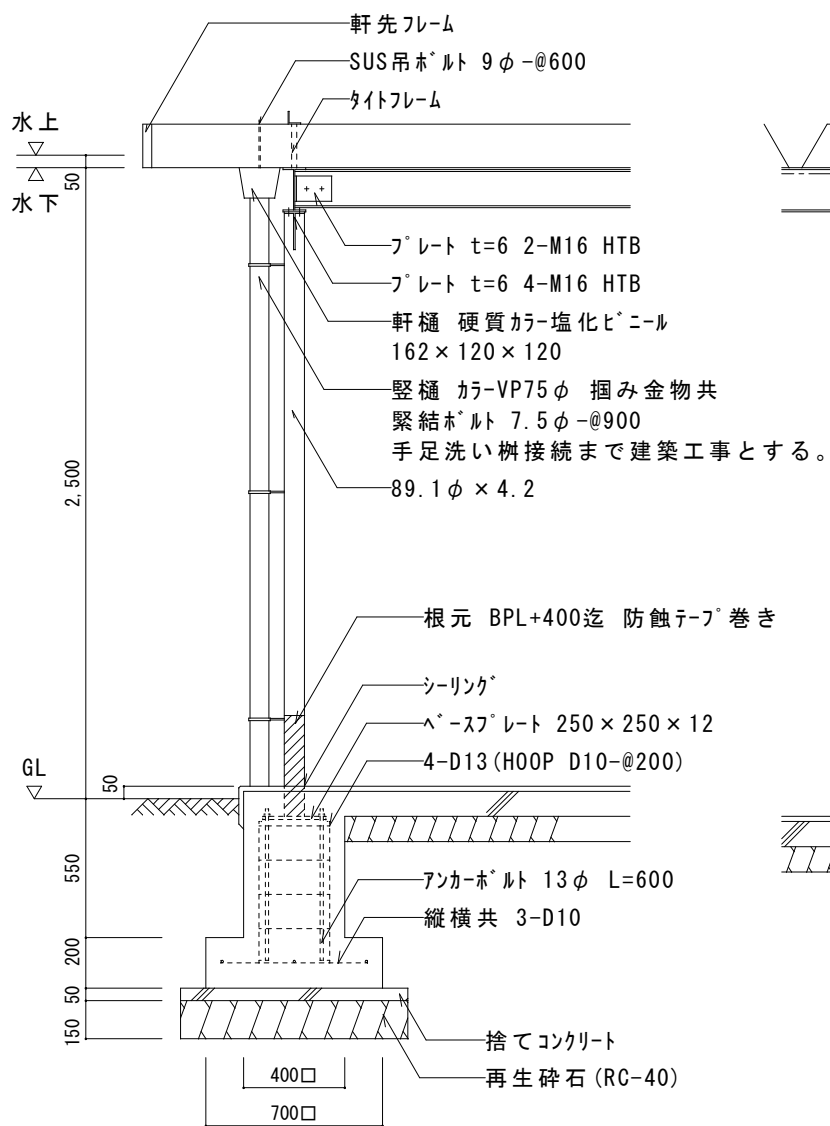
※ [ ] 内寸法は、小学校に適用する。  
流し廻り シーリング のこと。

地流し断面図

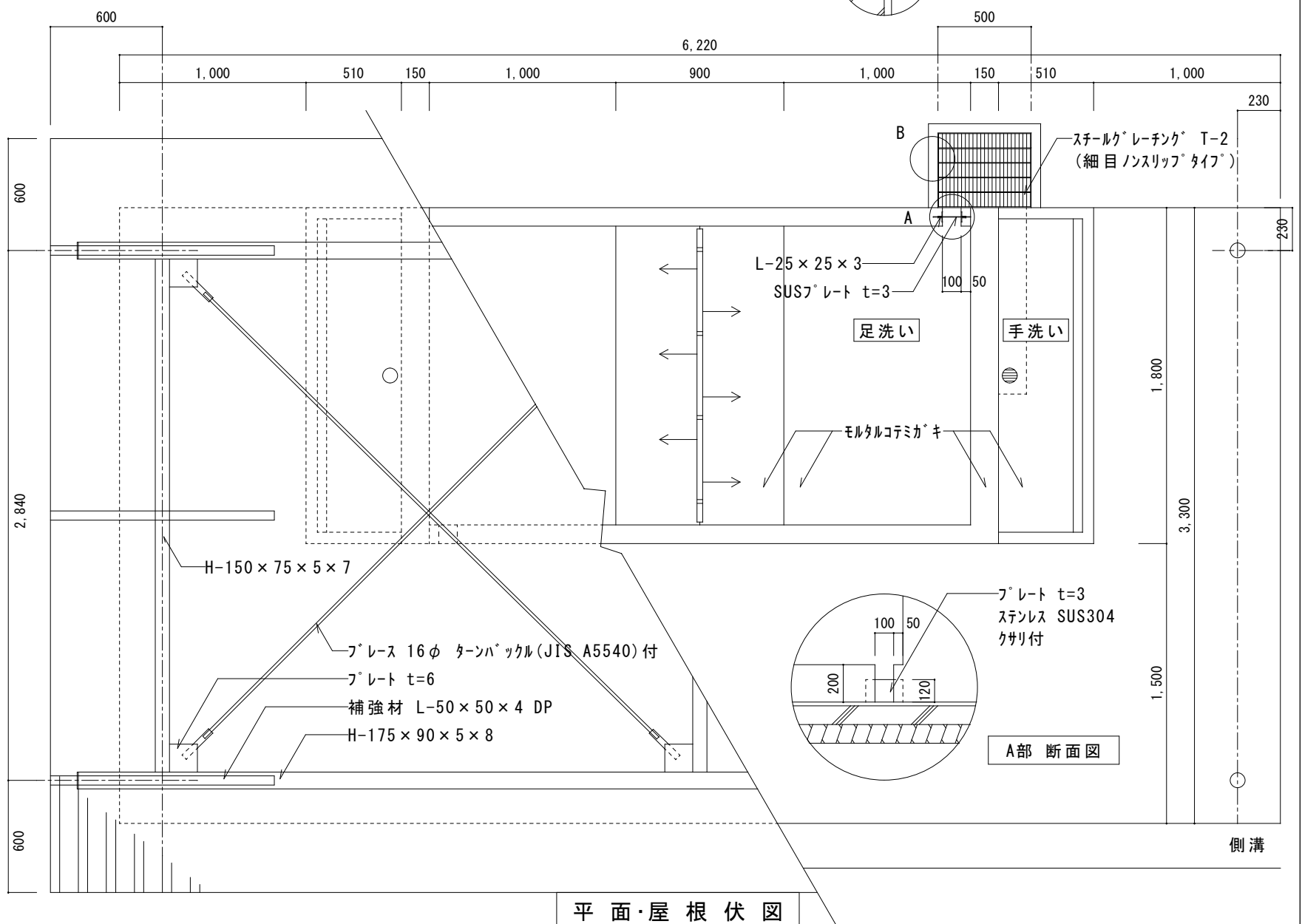
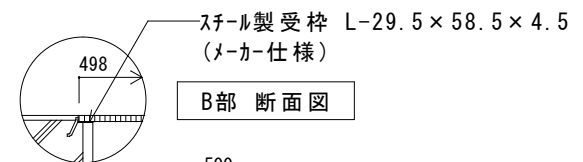


手洗い標準図

縮尺	1 : 30	図番	2026年4月 2-10	一宮市建築部 公共建築課
----	--------	----	-----------------	-----------------



断面詳細図



平面・屋根伏図

手足洗い場標準図

縮尺

1:30

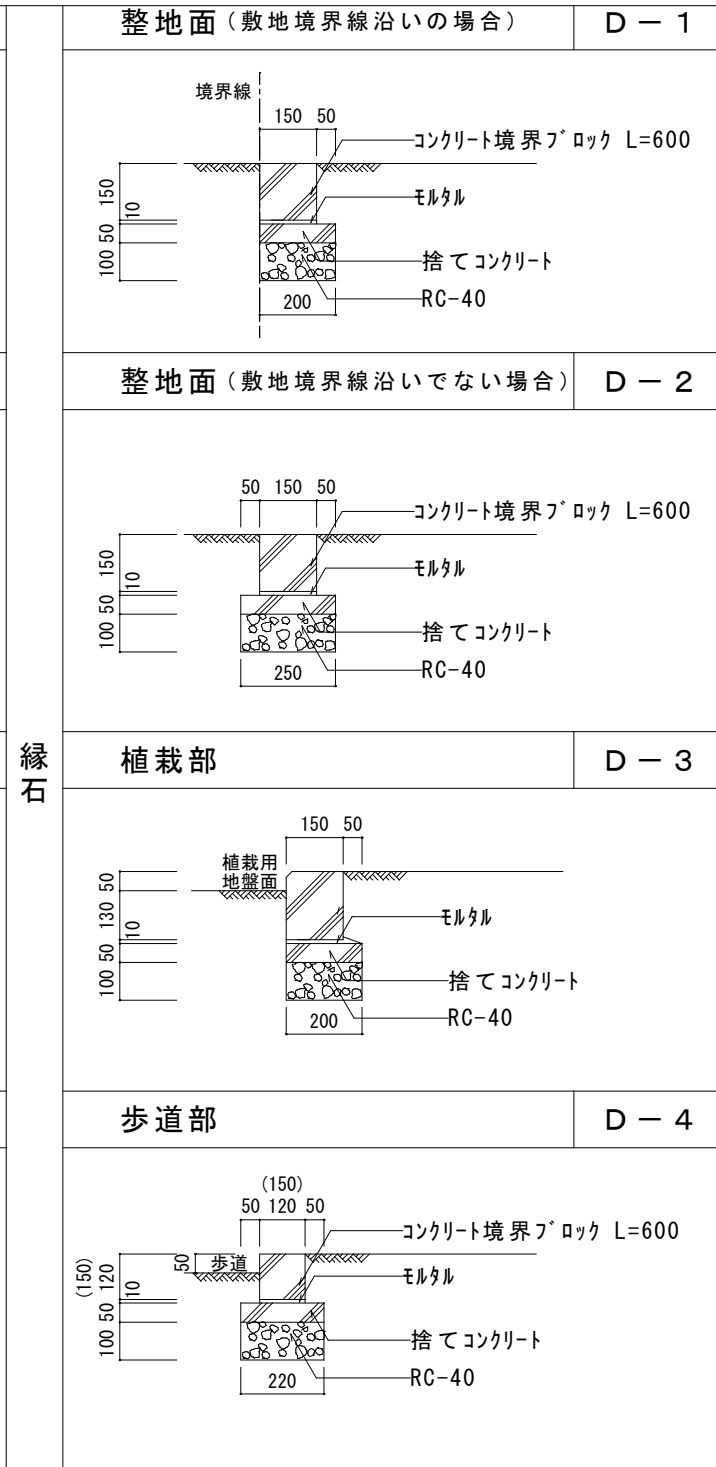
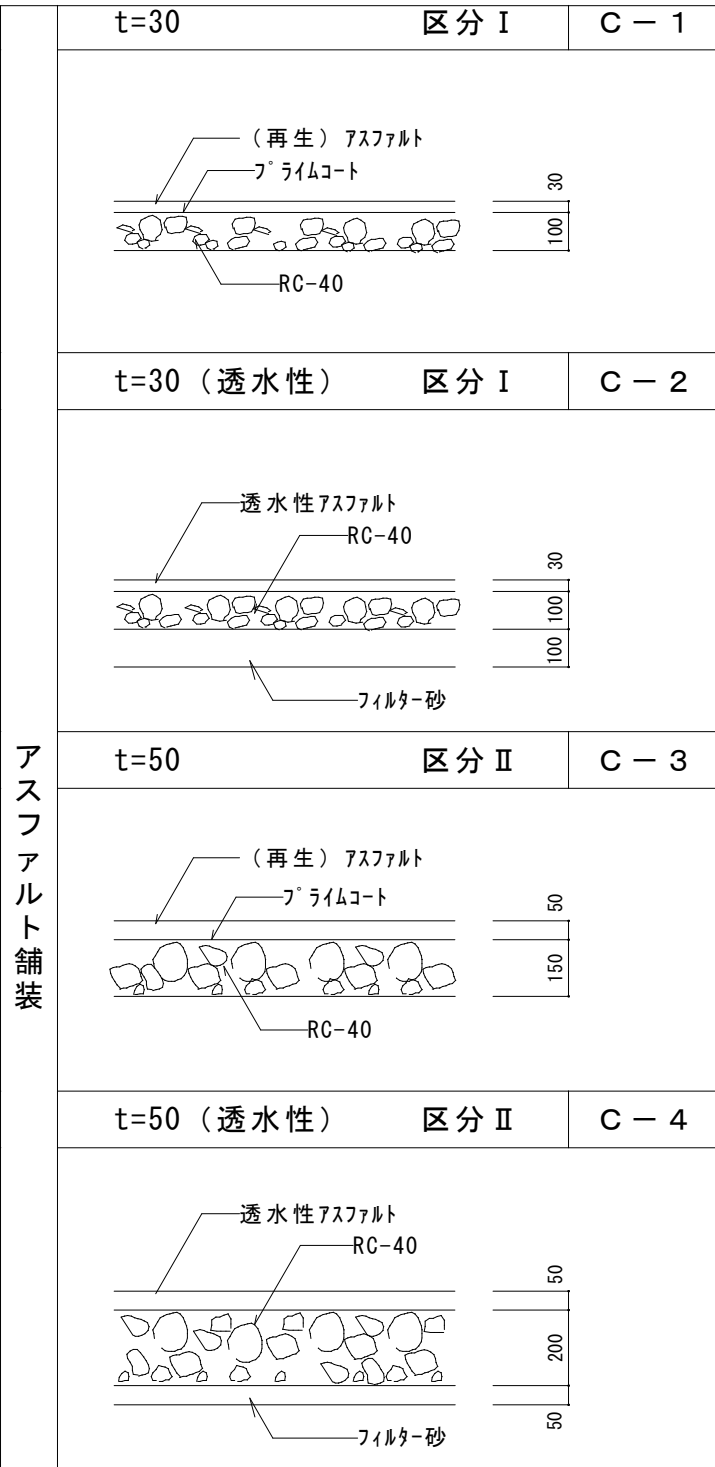
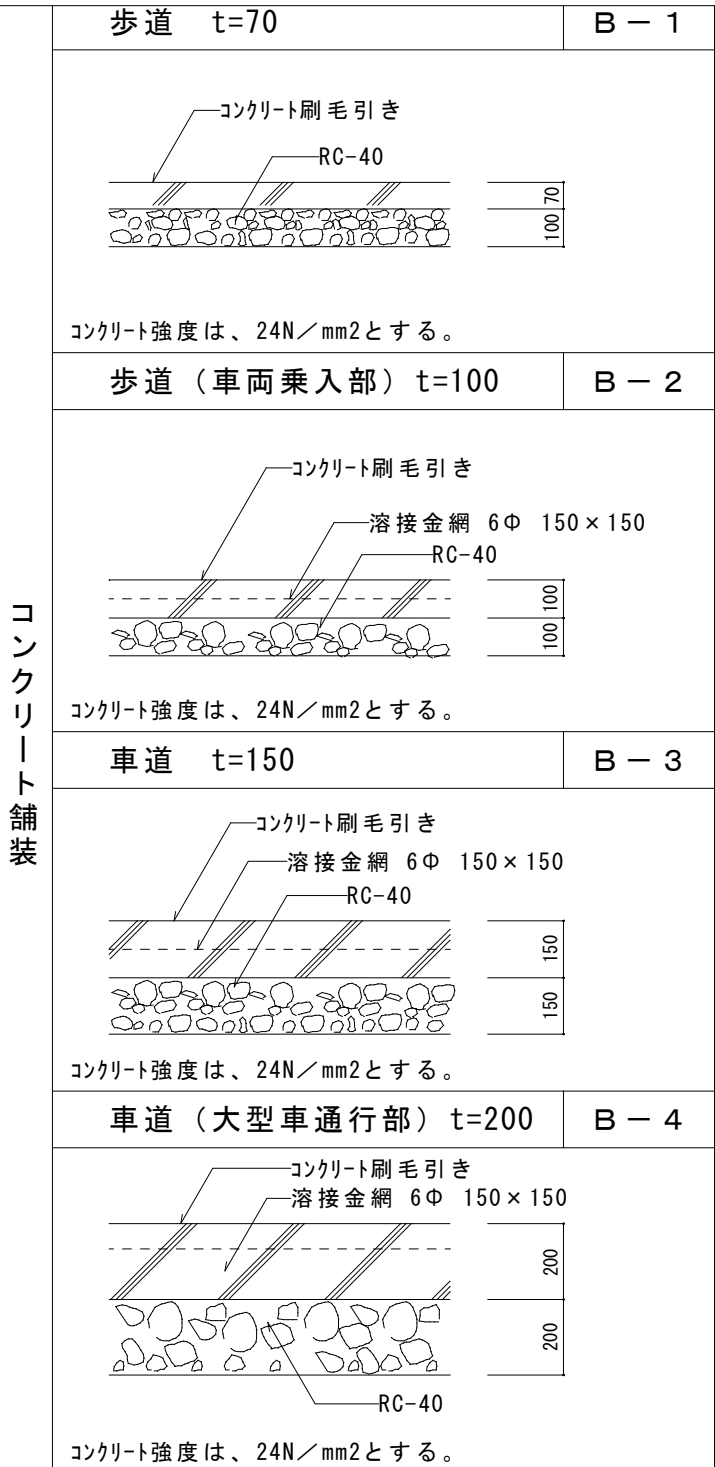
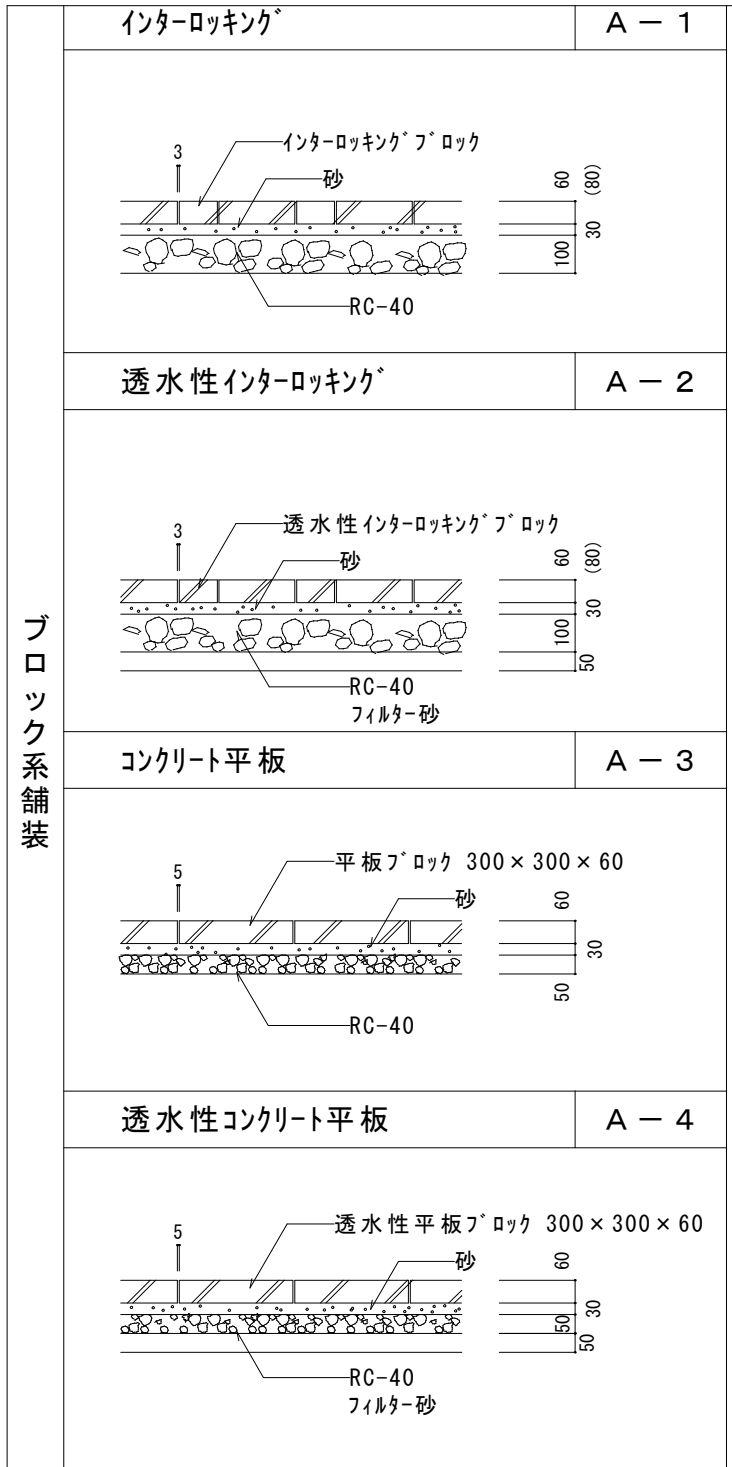
図番

2026年4月  
3-1

一宮市建設部  
公共建築課

- 注：( ) 寸法は、中学校用とする。  
：鉄部は、錆止め 1回 DP (3級) 塗りとする。  
：土間配筋は、縦横共 D10-@200 とする。  
：コンクリート強度 基礎 (24+SN/mm<sup>2</sup>)、土間 (24N/mm<sup>2</sup>)  
捨てコンクリート18N/mm<sup>2</sup>  
：柱はSTK材、梁はSS材、へースプレートはSN材使用のこと。





**U型側溝** F-1

	a	b	c	d	e	f	g	r	l	w
180	180	170	180	35	40	40	190	50	600	250
240	240	220	240	45	50	50	240	50	600	320
300A	300	260	240	50	60	60	300	50	600	380
300B	300	260	300	50	60	60	300	50	600	380
300C	300	260	360	50	60	65	300	50	600	380

空練りモルタル 1:3  
RC-40

区分Ⅰ 歩行者、自転車の交通に供する歩道、自転車道。

区分Ⅱ 歩行者や自転車以外に、最大積載量4t以下の管理用車両や限定された一般車両の通行する歩行車系道路（駐車場等）

呼び名A：120×120×600  
呼び名B：150×150×600  
( )寸法は、呼び名Bとする。

**ブロック系舗装・コンクリート舗装**  
**アスファルト系舗装・縁石・側溝 標準図**

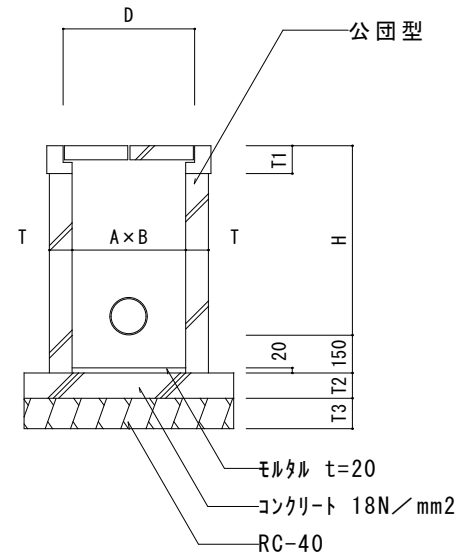
縮尺 1:20  
図番 2026年4月 4-2  
一宮市建築部 公共建築課

集水樹

F-2

旗受けポール

G-3



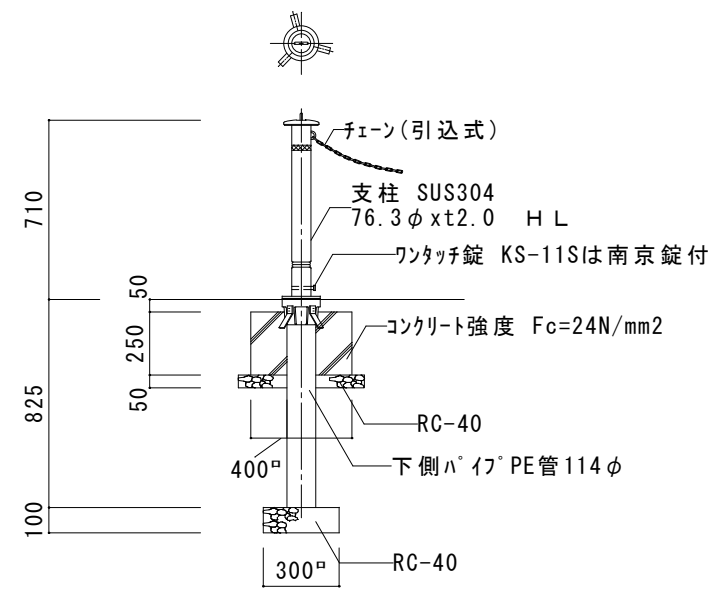
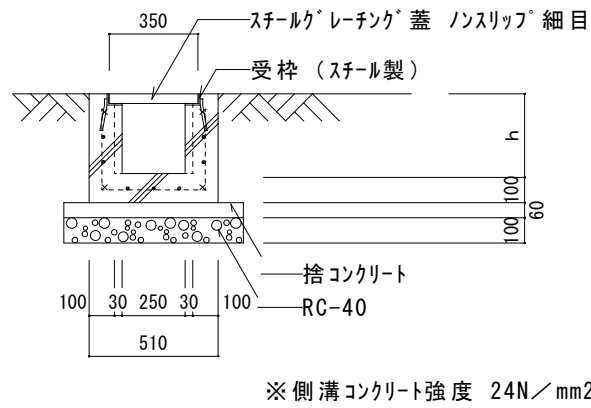
A x B	深さ H	T	T1	T2	T3	D
300 x 300	600以下	75	110	100	120	380
450 x 450	610 ~ 900	90	110	100	120	560
600 x 600	910 ~ 1500	90	125	100	120	720
750 x 750	1510 ~ 2100	90	125	100	120	870

現場打側溝

F-3

ステンレスハリカー

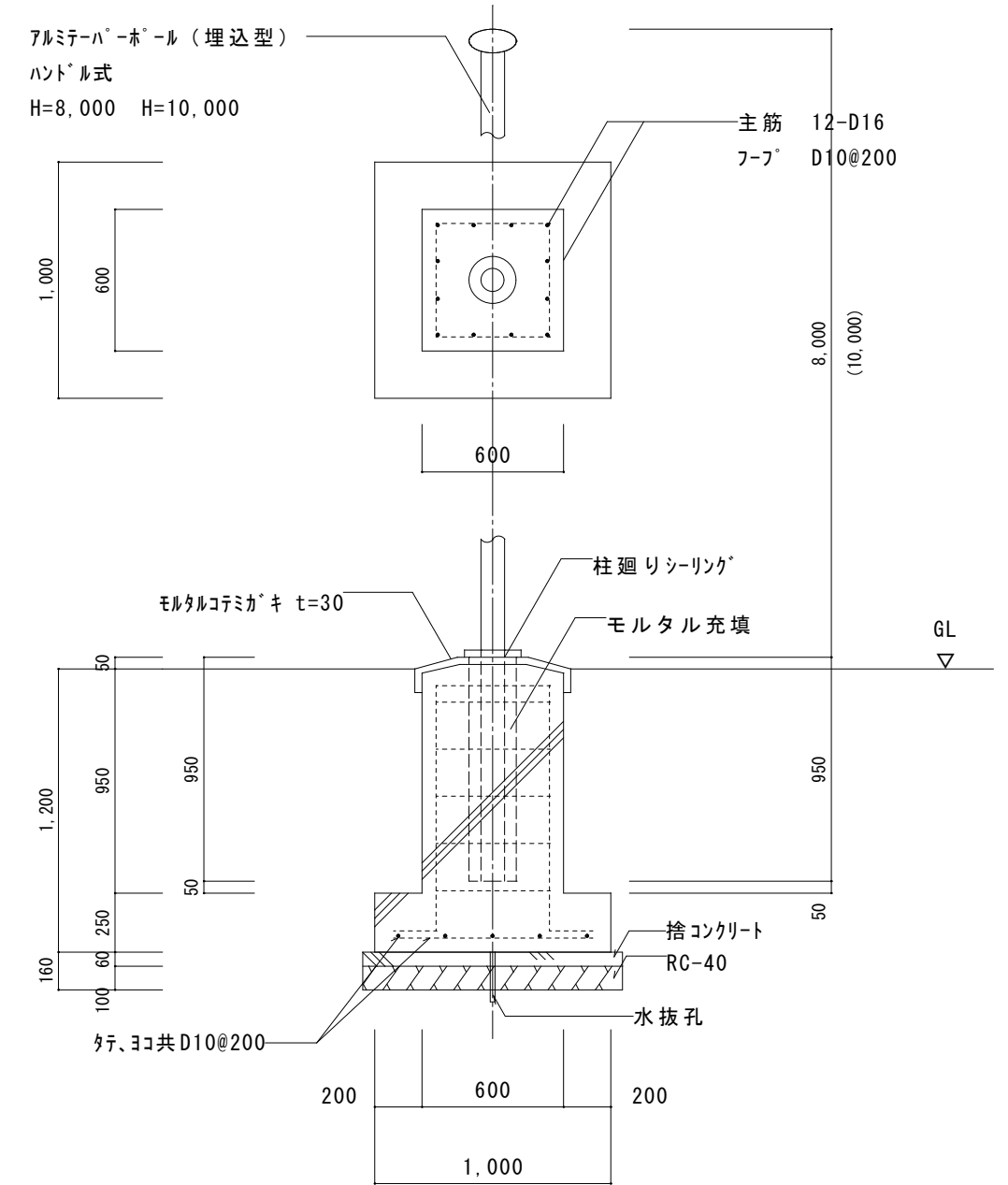
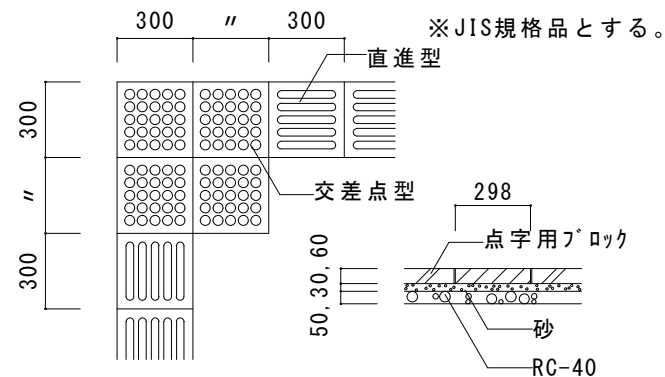
G-2



- (注) 1. スライド式単独使用箇所は 帝金KS-11S 同等品  
 2. スライド式ケリ内蔵型は 帝金KS-11CS 同等品  
 3. スライド式ケリ内蔵型端部は 帝金KS-11CTS 同等品  
 4. 固定式は、帝金KS11S-SD同等品

障害者用点字ブロック

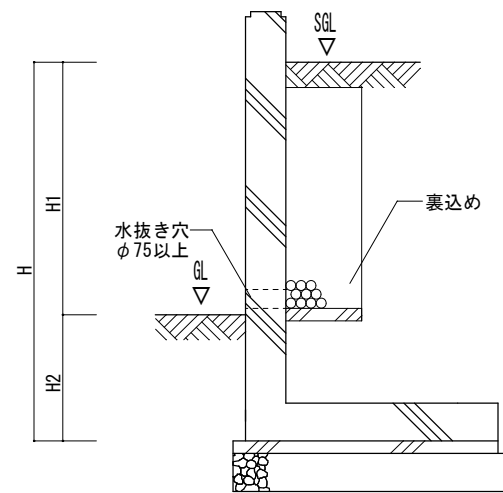
G-1



※旗竿(柄)サポ-ル FH-8 FH-10程度 旗 900 x 1,300共。  
 コンクリート強度 (基礎) 24+S N/mm2 (捨て) 18N/mm2  
 ※基礎については、メーカー推奨を優先とする。

集水樹・現場打側溝・点字ブロック ハリカー・旗受けポール 標準図	縮尺 1:30	図番	2026年4月	一宮市建築部 公共建築課
			4-3	

土留擁壁参考図(申請地と隣地との高低差(H1)が1mをこえる場合)



- ※一宮市開発許可技術基準対応
- ※構造は現場打鉄筋コンクリート擁壁または既製コンクリート擁壁とする。
- ※現場打鉄筋コンクリート擁壁の場合は構造計算による安全性の確認、又は名古屋市認定擁壁基準のいずれかを満たすものとする。
- ※既製コンクリート擁壁の場合は構造計算による安全性の確認、又は大臣認定擁壁基準のいずれかを満たすものとする。
- ※擁壁の根入れ深さ(H2)は壁高(H)の0.15倍以上、かつ35cm以上を目安とする。ただし、構造計算による安全性の確認ができるものは、この限りでない。
- ※裏込め、水抜きは、径75mm以上とし3m以内に1箇所以上設けるものとする。
- ※高さが2mをこえる擁壁(建築基準法施行令第138条)の場合は、建築基準法の規定を準用する。
- ※申請地と隣地との高低差(H1)が1m以下の場合についても、擁壁の安全性は確認すること。
- ※隣接して、水路構造物等がある場合は根入れ深さは、一宮市開発許可技術基準による。

土留擁壁 標準図

縮  
尺

1 : 30

図  
番

2026年4月

4-4

一宮市建築部  
公共建築課